

3.1.4 生物環境

(1) 植物

1) 植物相及び注目すべき植物の状況

ア. 植物相

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）によれば、仙台市の丘陵地帯は暖温帯と冷温帯の間に位置する中間温帯と呼ばれる領域でモミイヌブナ林の発達が見られ、しかもその領域が広い面積を占めることが特徴である。この領域では暖地系の植物、寒地系の植物の両方がみられる等、植物相は非常に多様である。

「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）によれば、宮床地区の環境を特徴づける植物種として、ミゾソバ、セリ等の湿地の種、ブナ等の山地の種、コナラ、カタクリ等の丘陵地の種が生育している。

「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）によれば、南部の山林地帯にはクリ、ナラ等を始め、カエデ、ホオノキ、モミ、ヤマウルシ等の樹木が比較的多く繁茂し、またこの間にスギ、ヒノキ、マツ等が植林されている。

イ. 注目すべき植物種

注目すべき植物種は、「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）において、「保全上重要な植物種」として選定されている種に加え、国や宮城県のレッドデータ等に該当する種とした（表3.1.4-1及び3.1.4-2参照）。

調査範囲における注目すべき植物種は、表3.1.4-3(1)～(4)に示すとおりであり、49科104種である。

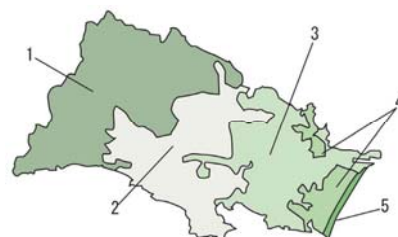
表3.1.4-1 注目すべき種の選定基準

選定理由		番号・記号	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種。	
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティー）となっている種	
		4	その他、学術上重要な種	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
			EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
			A	現在ほとんど見ることができない。
			B	減少が著しい。
			C	減少している。
			*	普通に見られる。
			/	生息・生育しない可能性が非常に大きい。
		環境指標種	○	本市の各環境分類において良好な環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標）
		ふれあい保全種	○	市民に親しまれている（よく知られている）種のうち、保全上重要な種。（身近にある種の保全に対して啓蒙をはかるための種。）
レッドデータ等	国 RL（「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR	絶滅危惧ⅠA類	
		EN	絶滅危惧ⅠB類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群	
	宮城 RL（「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月 宮城県）掲載種）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
	要	要注目種		
	天記・種保存法（「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）掲載種）	特天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における天然記念物	
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国内希少野生動植物	
国際		『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国際希少野生動植物		

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）

表3.1.4-2 注目すべき種(減少種)の地域区分

番号	地域区分
1	山地地域
2	西部丘陵地・田園地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域 (後背の樹林帯も含む)



出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成23年3月 仙台市)
 「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2011-2020」(平成23年3月 仙台市)
 注) 調査範囲は、「1 山地地域」「2 西部丘陵地・田園地域」「3 市街地地域」に該当する。

表3.1.4-3(1) 注目すべき植物種(1/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分							国 R L	県 R L	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種				
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
1	ミズニラ	ミズニラ	○			1		B		A			NT	NT		根白石
2	トクサ	イヌスギナ		○				B		B						大和町宮床地区
3	コケシノブ	ヒメハイホラゴケ	○			1										朴沢小山
4	オシダ	リョウメンシダ		○				B				○	○			大和町宮床地区
5		イワシロイノデ	○					B								根白石
6		サカグイノデ	○					B								北中山
7	マツ	モミ	○	○	○	2		C				○	○			長命館公園, 将監沼風致公園, 大和町宮床地区
8	イチイ	カヤ			○	2		B				○				
9	カバノキ	サワシバ	○	○			C	B				○				朴沢, 大和町宮床地区
10		アカシデ	○	○			C	B		/		○	○			長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区
11		イヌシデ	○	○		4	C	B		C		○				長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区
12	ブナ	ブナ		○	○	4	C	B				○				大和町宮床地区
13		イヌブナ		○		1, 4		B				○	○			大和町宮床地区
14		ミズナラ	○				C	B				○				朴沢
15		シラカシ	○			2		C	C	C		○	○			長命館公園
16	ニレ	エノキ	○			4		B	B	B		○				寺岡
17		ケヤキ		○			C	C	B	B		○				大和町宮床地区
18	タデ	ナガバノウナギツカミ			○								NT	VU		
19		イヌタデ	○	○	○							○				将監沼風致公園, 大和町宮床地区
20		サデクサ			○									NT		
21		ミゾソバ		○	○			C	B	C		○	○			大和町宮床地区
22	ナデシコ	カワラナデシコ	○					C				○				朴沢

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)

※2：国 R L：「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種

県 R L：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種

天記：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)

※3：種名等は、「植物目録 1987」(昭和63年3月 環境庁) に準拠した。

表3.1.4-3(2) 注目すべき植物種(2/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要な種	注目種					ふれあい保全種							
							減少種												
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜		環境指標種						
23	クスノキ	オオバクロモジ	○	○													将監沼風致公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
24		シロダモ	○			2	*		*	*	○	○				長命館公園			
25	キンボウゲ	ニリンソウ			○			B		B			○	○					
26		イチリンソウ			○										CR+EN				
27		リュウキンカ	○										○				白石銅谷, 朴沢銅所		
28		オキナグサ			○	1		A							VU	CR+EN			
29		バイカモ	○			1		B									朴沢上の原		
30	ドクダミ	ハンゲショウ			○										VU				
31	ボタン	ヤマシャクヤク	○		○	1	B	B							NT	CR+EN	朴沢		
32	ツバキ	ヤブツバキ		○				B	B	B	B	○	○				大和町宮床地区		
33	モウセンゴケ	イシモチソウ			○										NT				
34		モウセンゴケ	○					C					C				寺岡		
35	ケシ	キケマン			○											VU			
36		ヤマブキノソ			○	1		B											
37	アブラナ	ナズナ	○	○	○			B	B	B			○	○			北中山, 天神沢, 大和町宮床地区		
38	ベンケイソウ	キリンソウ	○										○				上刈谷丸太沢		
39	ユキノシタ	トリアシショウマ	○	○			C	B		B			○				長命館公園, 大和町宮床地区		
40		コチャルメルソウ	○										○				朴沢銅門		
41	バラ	ザイフリボク	○			1		B									将監沼風致公園		
42		ヤマブキ	○					C					○				朴沢		
43		カスミザクラ		○				C					○				大和町宮床地区		
44	マメ	タヌキマメ			○	1, 2	EX	EX	EX	EX	EX					CR+EN			
45		ツクシハギ	○					B					○	○			将監沼風致公園, 朴沢		
46	トウダイグサ	ノウルシ			○										NT	要			
47	カエデ	ハウチワカエデ	○	○				C					○				将監沼風致公園, 大和町宮床地区		
48		イタヤカエデ	○	○				C									長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
49		メグスリノキ	○	○		1		B					○				長命館公園, 大和町宮床地区		
50		ヤマモミジ	○					B					○	○			朴沢		
51		ウリハダカエデ	○	○				C					○				長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
52	トチノキ	トチノキ	○					C	C				○				朴沢		
53	モチノキ	イヌツゲ	○	○				C					C				長命館公園, 将監沼風致公園, 大和町宮床地区		
54	スマレ	タチスミレ			○										VU	EX			
55		ナガハシスミレ	○	○		1		B		B							長命館公園, 将監沼風致公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
56	ヒシ	ヒシ	○					B		B			○	○			朴沢, 根白石		
57	ミズキ	アオキ	○	○				C	C	C	C	○	○				長命館公園, 大和町宮床地区		
58	ウコギ	コシアブラ	○					C	C								長命館公園		
59	イチヤクソウ	ウメガサソウ	○							C			C	○			朴沢		
60	ツツジ	ヤマツツジ	○	○				C	C				C	○			長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料)掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県)掲載種

天記：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)

※3：種名等は、「植物目録 1987」(昭和63年3月 環境庁)に準拠した。

表 3.1.4-3(3) 注目すべき植物種(3/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分								国 R L	県 R L	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要種	注目種										
							減少種				環境指標種	ふれあい保全種					
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園			海浜				
61	ツツジ	トウゴクミツバツツジ	○			2		B									長命館公園
62		ナツハゼ	○					C				○					長命館公園, 根白石
63	サクラソウ	サクラソウ	○			1		A				○	NT	CR+EN			朴沢
64	モクセイ	イボタノキ	○					B				○					根白石, 長命館公園, 朴沢
65	リンドウ	コケリンドウ			○									CR+EN			
66		ホソバツルリンドウ	○			1		C					VU	VU			実沢
67	キョウチクトウ	チョウジソウ			○								NT	CR+EN			
68	ガガイモ	スズサイコ	○			1		A					NT	VU			朴沢
69	シソ	ツルカコソウ			○								VU	CR+EN			
70		タツナミソウ			○											要	
71	ゴマノハグサ	スズメノトウガラシ			○									NT			
72		サギゴケ		○				C		C		○					大和町宮床地区
73		ゴマノハグサ			○								VU	VU			
74		イヌノフグリ			○	1		B					VU	VU			
75		カワヂシャ			○	1		B	B				NT	NT			
76	オオバコ	オオバコ	○	○	○							○					長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区
77	キク	オクモミジハグマ	○	○				C				○					将監風致公園, 大和町宮床地区
78		オケラ	○		○			B				○	○				長命館公園, 将監風致公園
79		アズマギク			○	1		B				○	○	VU			
80		アキノキリンソウ	○	○	○			C				○					将監風致公園, 大和町宮床地区
81		エゾタンポポ		○				C	B	B	C	○	○				大和町宮床地区
82		オナモミ			○								VU	VU			
83	ユリ	カタクリ	○	○	○			B	B	B		○					長命館公園, 大和町宮床地区
84		ヒメヤブラン	○	○				C				*	○	○			根白石, 大和町宮床地区
85		オオバジャノヒゲ	○	○				B				C	○				長命館公園, 大和町宮床地区
86		ナルコユリ			○									DD			
87		ユキザサ	○					C				○					長命館公園
88		アマナ			○									VU			
89	アヤメ	ノハナショウブ	○			1		C				○	○				朴沢
90		ヒメシャガ	○					B	B			○	○	NT	NT		長命館公園
91	イネ	ヤマアワ	○					B				B					根白石
92		メヒシバ	○	○								○					将監風致公園, 大和町宮床地区
93		カゼクサ		○					B	C		○					大和町宮床地区
94		オオウシノケグサ	○			4		B		B	C	○	○				古内
95		エゾノサヤカグサ		○							C						大和町宮床地区
96		アイアシ	○			1						C	○		NT		七北田川
97		ヨシ	○	○				C	C	C	C	○	○				将監風致公園, 大和町宮床地区
98		シバ	○					B	B	B		○	○				長命館公園, 朴沢
99	サトイモ	ミズバショウ	○					B				○	○				丸田沢

※1：表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
 ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
 ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）
 ※2：国 RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種
 県 RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月宮城県）掲載種
 天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）
 種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）
 ※3：種名等は、「植物目録 1987」（昭和63年3月 環境庁）に準拠した。

表 3.1.4-3(4) 注目すべき植物種(4/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分											天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要な種	注目種											
							減少種					環境指標種	ふれあい保全種	国RL	県RL			
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜							
100	ミクリ	ナガエミクリ	○			1		A		A					NT	NT	根白石	
101	カヤツリグサ	カンガレイ	○					B		B							丸田沢	
102	ラン	ジュンラン			○			C		C		○						
103		クモキリソウ	○			1, 4		B			B						朴沢	
104		ネジバナ	○	○	○			B		B		○	○				長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区	
	49科	104種	66種	37種	37種	30種	11種	73種	18種	28種	19種	48種	44種	18種	29種	0種		

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「植物目録 1987」（昭和63年3月 環境庁）に準拠した。

2) 植生及び保全上重要な植物の生育地の状況

ア. 植生

調査範囲における植生の状況は、図3.1.4-1(1)～(3)に、植生自然度の区分基準は、表3.1.4-4に示すとおりである。

調査範囲の北側には丘陵地が広がり、クリーコナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林、伐採跡地群落、アカマツ群落(V)等が広くみられる。南側には市街地が大半を占め、七北田川周辺には水田雑草群落が広がっている。

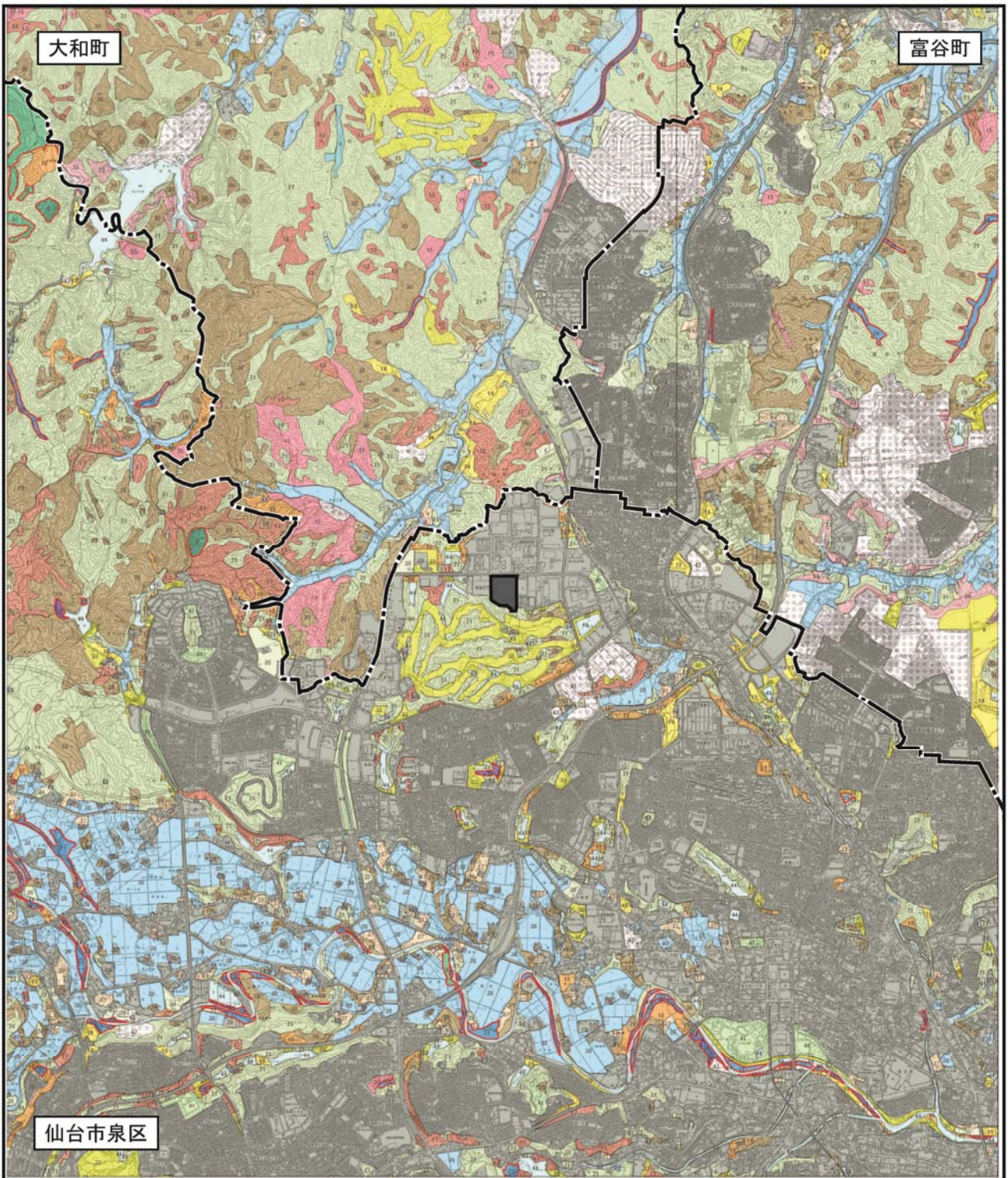
自然植生(植生自然度9、10)の分布状況を見ると、植生自然度10のヨシクラスは七北田川等の河川沿いや沢沿いに、ヒルムシロクラスは調査範囲内に点在する溜池等にみられる。また、植生自然度9のモミーイヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、ケヤキ群落(IV)、ヤマハンノキ群落は宮床ダム周辺の山地帯に、ヤナギ高木群落(IV)、ヤナギ低木群落(IV)は七北田川等の河川沿いに、ハンノキ群落(IV)は紫山地区及び高森地区の溜池沿いにみられる。

計画地の植生については、大部分が工業地帯(植生自然度1)であり、敷地南側にクリーコナラ群集(植生自然度7)が分布する。計画地周辺は、北側に市街地(植生自然度1)、南側にクリーコナラ群集(植生自然度7)やゴルフ場・芝地(植生自然度2)が分布している。

表3.1.4-4 植生自然度区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギーコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑園、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「自然環境保全基礎調査 植生調査」 (http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)



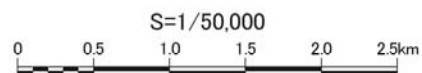
凡 例

- 計画地
- 植生自然度9, 10
- 市町界

※凡例は次ページ以降に示す。

出典:「平成21年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託(平成22年3月 仙台市)」「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000植生図(根白石)(富谷町)平成14年度調査」(<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.1.4-1(1) 現存植生図





凡例（根白石）



凡例（富谷町）

凡例色, 凡例番号, 凡例名 (植生自然度 (表 3.1.4-4 参照))

- 2, モミーイヌブナ群集, (9)
- 4, イヌシデーアカシデ群落, (9)
- 13, アカマツ群落 (V), (7)
- 14, ススキ群団 (V), (5)
- 15, 伐採跡地群落 (V), (4)
- 21, クリーコナラ群集, (7)
- 23, クズ群落, (4)
- 24, ヨシクラス, (10)
- 30, スギ・ヒノキ・サワラ植林, (6)
- 33, ニセアカシア群落, (7)
- h, ゴルフ場・芝地, (2)
- f, 路傍・空地雑草群落, (4)
- a, 畑雑草群落, (2)
- b, 水田雑草群落, (2)
- d, 放棄水田雑草群落, (4)
- k, 市街地, (1)
- i, 緑の多い住宅地, (2)
- l, 工場地帯, (1)
- m, 造成地, (1)
- w, 開放水域, (-)

凡例色, 凡例番号, 凡例名 (植生自然度 (表 3.1.4-4 参照))

- 9, ヤナギ低木群落 (IV), (9)
- 13, アカマツ群落 (V), (7)
- 14, ススキ群団 (V), (5)
- 15, 伐採跡地群落 (V), (4)
- 21, クリーコナラ群集, (7)
- 23, クズ群落, (4)
- 24, ヨシクラス, (10)
- 30, スギ・ヒノキ・サワラ植林, (6)
- h, ゴルフ場・芝地, (2)
- g, 牧草地, (2)
- f, 路傍・空地雑草群落, (4)
- e, 果樹園, (3)
- a, 畑雑草群落, (2)
- b, 水田雑草群落, (2)
- d, 放棄水田雑草群落, (4)
- k, 市街地, (1)
- i, 緑の多い住宅地, (2)
- l, 工場地帯, (1)
- m, 造成地, (1)
- w, 開放水域, (-)

出典: 「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000植生図(根白石) (富谷町) 平成14年度調査」(<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.1.4-1(2) 現存植生図 凡例(根白石)(富谷町)



凡例（仙台市）

凡例色，凡例番号，凡例名（植生自然度（表 3.1.4-4 参照））

- 5.モミイヌブナ群集,(9)
- 9.ケヤキ群落(IV),(9)
- 10.ハンノキ群落(IV),(9)
- 11.ヤナギ高木群落(IV),(9)
- 12.ヤナギ低木群落(IV),(9)
- 16.ヤマハンノキ群落,(9)
- 17.アカマツ群落(V),(7)
- 18.落葉広葉低木群落,(7)
- 19.ススキ群団(V),(5)
- 20.伐採跡地群落(V),(4)
- 21.クリーコナラ群集,(7)
- 22.アズマネザサ群落,(5)
- 23.ヨシクラス,(10)
- 25.ヒルムシロクラス,(10)
- 29.スギ・ヒノキ・サワラ植林,(6)
- 32.竹林,(7)
- 33.ゴルフ場・芝地,(2)
- 35.路傍・空地雑草群落,(4)
- 36.果樹園,(3)
- 37.畑雑草群落,(2)
- 38.水田雑草群落,(2)
- 39.市街地,(1)
- 40.緑の多い住宅地,(2)
- 41.残存・植栽樹群をもった公園、墓地等,(2)
- 43.造成地,(1)
- 44.開放水域,($-$)
- 45.自然裸地,($-$)

出典：「平成21年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託（平成22年3月 仙台市）」
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.1.4-1(3) 現存植生図 凡例(仙台市)

イ. 保全上重要な植物の生育地

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)における保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準は、表3.1.4-5に示すとおりであり、調査範囲において植物生育地として重要な地域は、表3.1.4-6及び図3.1.4-2に示すとおりである。

宮城県レッドリストにおける植物群落のカテゴリー区分は、表3.1.4-7に示すとおりであり、調査範囲において宮城県レッドリストに該当する植物群落は、表3.1.4-8及び図3.1.4-2に示すとおりである。

計画地は、植物生育地として重要な地域に含まれていない。

表3.1.4-5 保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準

区分	判断理由	
保全上重要な地域	1	・保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域
	2	・多様な生物相が保存されている地域
	3	・自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
	4	・湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
	5	・自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
	6	・環境教育の場としてふさわしい地域
	7	・郷土の特色が保存されている地域(里地・里山・居久根等)
	8	・緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域(山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等)
	9	・海岸や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

表3.1.4-6 植物生育地として重要な地域

No.	件名	備考	判断理由
1	根白石(朴沢・実沢・福岡)地域の里地・里山植生	里地・里山植生が良好な状態で残されている。	7, 8
2	洞雲寺のコナラ林	樹高18m、胸高直径63cmのコナラを主体とする森林。下層にはモミの若木が生長している。コナラの胸高直径がこれほどの森林は県内には見られず貴重である。	5, 6, 7
3	七北田川下流域の河畔植生	河畔植生として保護が必要。	8, 9
4	丸田沢緑地(水の森公園)	丸田沢緑地環境保全地域。市街地に残された池沼を含む緑地・公園である。植物生育地、環境学習のフィールドとして重要である。	5, 6, 7
5	台原森林公園・真美沢公園の里地・里山植生	市街地に残された、まとまりのある里地・里山植生として重要。	7, 8

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

注) 表中のNo.は図3.1.4-2の英数字に対応する。判断理由は表3.1.4-5に対応する。

表3.1.4-7 宮城県レッドリストにおける植物群落のカテゴリー区分

カテゴリー	区分	基本概念
D	壊滅	—
4	壊滅状態	群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する。
3	壊滅危惧	群落は対策を講じなければ徐々に悪化して壊滅する。
2	破壊危惧	群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある。
1	要注意	群落は、現在保護・管理状態が良く、当面破壊されるおそれがない。しかし、監視は必要である。

出典：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

表3.1.4-8 宮城県レッドリストに該当する植物群落

単一群落

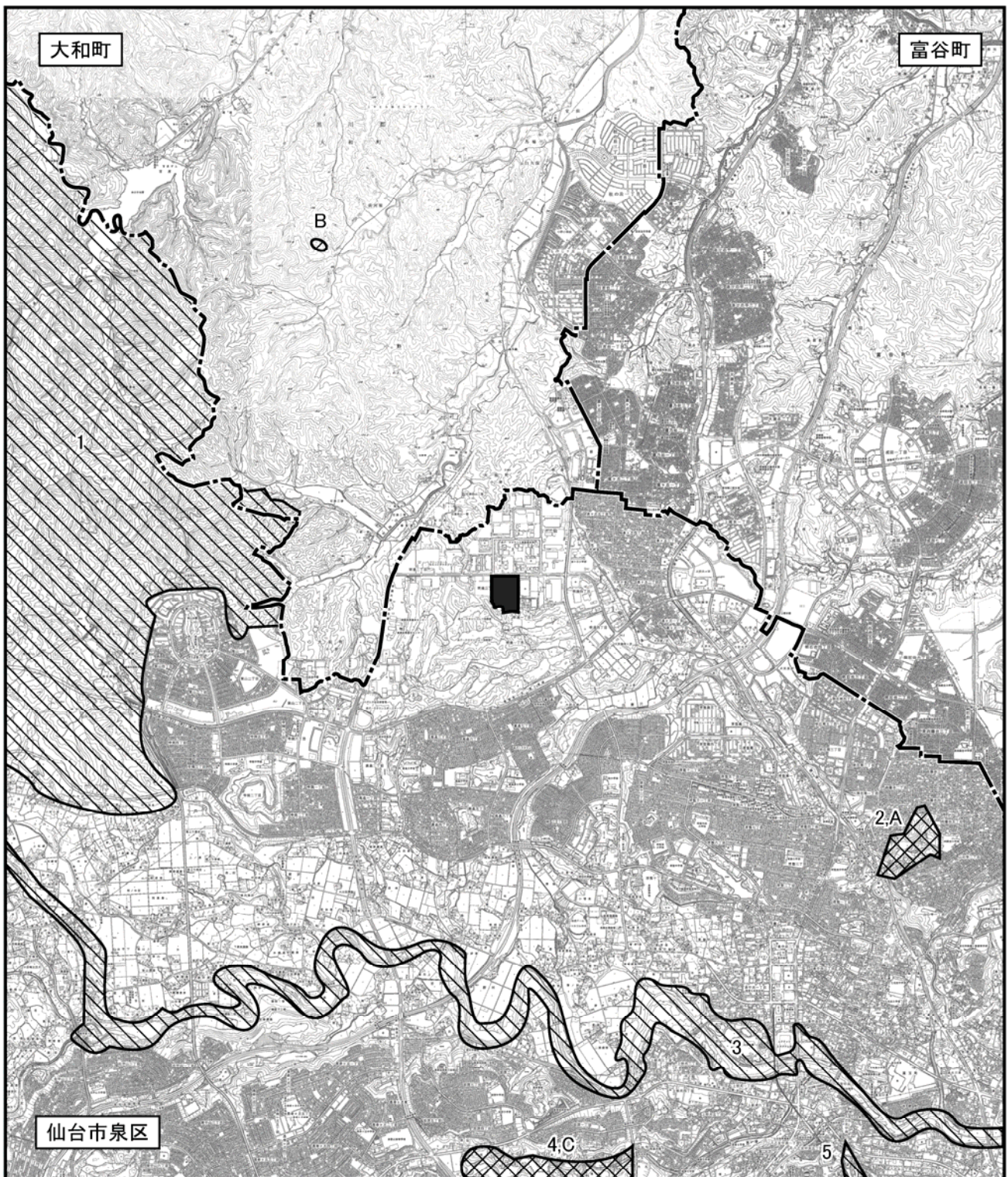
No.	植生帯	群系名	群落名	調査群落名	カテゴリー
A	丘陵地帯	二次樹林	コナラ群落	洞雲寺のコナラ群落	3
B	山地帯	冷温帯樹林	ハンノキ群落	砂生田沢のミズバショウ群落	1

群落複合

No.	区分	調査群落名	カテゴリー
C	中間温帯森林植生	(仮称) 丸田沢の植物群落	3

出典：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

注) 表中のNo. は図3. 1. 4-2の英数字に対応する。カテゴリーは表3. 1. 4-7に対応する。



凡 例

- 計画地
- 市町界
- 植物生育地として重要な地域
- 宮城県レッドリストに該当する植物群落

※図中の英数字は、表3.1.4-6及び表3.1.4-8のNo.に対応する。
 出典:「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」
 (平成23年3月 仙台市)
 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2013年版
 (震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

図3.1.4-2 植物生育地として重要な地域
 及び宮城県レッドリストに該当する植物群落



(2) 動物

1) 動物相及び注目すべき動物の状況

ア. 動物相

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）によれば、仙台市の山地から丘陵地に広がる森林域には本州最大の哺乳類であるツキノワグマや、特別天然記念物であるカモシカをはじめ、ヤマネ、ニホンザル、キツネ、タヌキ、ムササビ、ニホンリス等の哺乳類が生息している。鳥類ではオオルリ、ゴジュウカラ、キビタキ、アカゲラ等の森林性の鳥類が多く分布し、山地帯を中心にクマタカも生息している。爬虫類ではマムシやジムグリのほか、自然度が高い林床を好むタカチホヘビや比較的珍しいシロマダラ等も生息している。両生類では山地の溪流にハコネサンショウウオが生息し、トウホクサンショウウオは丘陵地の沢等に広く生息している。また、モリアオガエルやカジカガエルも生息している。魚類では山地の溪流でイワナ、ヤマメが生息する。一方、丘陵地の池沼等では近年オオクチバス（ブラックバス）やブルーギル、タイリクバラタナゴといった移入種により、在来の魚類の生息が脅かされている。昆虫類ではオニクワガタ、カミキリムシ類、ミドリシジミ類等の森林性の昆虫類が多数生息し、丘陵地にヒメギフチョウ本州亜種、丘陵地の湿地にオゼイトトンボ等のトンボ類が多く生息している。

市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や圃場整備等により動物の生息環境が減少しているが、市街地に残された公園や田園地域にみられる緑地や、河川沿い等でキツネ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタ等の動物が生息している。市街地に残された緑地ではオオタカの繁殖も確認されている。

「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）によれば、宮床地区の環境を特徴づける動物種として、ダイサギ、ニホンアカガエル、コバネイナゴ等の水田の種、ホオジロ、シータテハ等の樹林の種、ツキノワグマ、カモシカ等の山地の種、タヌキ、シジュウカラ等の丘陵地の種、スジエビ、コオニヤンマ、オイカワ等の水域の種が生息している。

「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）によれば、キツネ、タヌキ、ヤマガラ等の丘陵地の種、ツバメ、スズメ等の市街地の種、ドジョウ等の水田の種が生息している。

イ. 注目すべき動物種

注目すべき動物種は「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）において、「保全上重要な動物種」として選定されている種に加え、国や宮城県のレッドデータ等に該当する種とした（表3.1.4-1及び表3.1.4-2参照）。

調査範囲における注目すべき動物種は、表3.1.4-9～14に示すとおりであり、哺乳類で5目8科11種、鳥類で12目20科48種、爬虫類で1目3科3種、両生類で2目2科3種、魚類で5目6科6種、昆虫類で7目17科23種である。

表3.1.4-9 注目すべき動物種【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	モグラ	モグラ	モグラ			○		*	C	C	C	*		○							
2	ウサギ	ウサギ	ノウサギ		○	○		*	C	B	B	C		○					大和町宮床地区		
3	ネズミ	リス	ニホンリス			○		*	C	B		C		○							
4		ネズミ	ハタネズミ	○				C	C	B	C	C	○	○					朴沢		
5			ヒメネズミ	○				*	C	C	/		○						朴沢		
6	ネコ	クマ	ツキノワグマ	○	○		4	C	C										朴沢, 大和町宮床地区		
7		イヌ	タヌキ	○	○	○		*	C		C		○	○					朴沢, 大和町宮床地区		
8		イタチ	テン		○	○			C	C				○						大和町宮床地区	
9			イタチ		○		○		C	C	B	C	C	○	○					朴沢	
10	アナグマ			○		○	4	C	C										朴沢		
11	ウシ	ウシ	カモシカ		○		4	*					○				要	特天	大和町宮床地区		
				6種	5種	7種	3種	11種	10種	6種	6種	5種	6種	6種	0種	1種	1種				

※1: 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)
 ※2: 国RL: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種
 県RL: 「宮城県の希少な野生動物植物-宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種
 天記: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)
 種保存法: 「絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)
 ※3: 種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動物植物の種の現状-(脊椎動物編)」(平成5年12月 環境庁) に準拠した。

表3.1.4-10(1) 注目すべき動物種【鳥類】(1/2)

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○						C	B	C	C	○	○				朴沢, 丸田沢		
2	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ	○					C	B	C	C	○	○	NT	NT			七北田川		
3			コサギ	○		2		C	B	*	*	○	○					天神沢			
4	タカ	タカ	ミサゴ	○	○	1, 4					C	C	○		NT				七北田川, 大和町宮床地区		
5			ハチクマ	○		1, 4	C	C							NT	NT			朴沢		
6			オオタカ	○		1, 4	C	C	B	B	C	○	○		NT	NT	希少		七北田川		
7			ハイタカ	○		1, 4	C	C	C	C	C				NT	NT			丸田沢, 朴沢		
8			サシバ	○			C	C	A	C	C				VU	VU			朴沢		
9		ハヤブサ	チゴハヤブサ	○		1, 4			B	B							要		朴沢		
10	チョウゲンボウ		○					C	B	C	B		○					朴沢			

※1: 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)
 ※2: 国RL: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種
 県RL: 「宮城県の希少な野生動物植物-宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種
 天記: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)
 種保存法: 「絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)
 ※3: 種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動物植物の種の現状-(脊椎動物編)」(平成5年12月 環境庁) に準拠した。

表3.1.4-11 注目すべき動物種【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
				①	②	③	学術上重要な種	注目種							ふれあい保全種					
								減少種												
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種	ふれあい保全種						
1	トカゲ	トカゲ	トカゲ		○		1	C	C	A				○	○				大和町宮床地区	
2		カナヘビ	カナヘビ	○	○			*	*	C	C	C	○	○				上谷刈, 根白石, 大和町宮床地区		
3		ヘビ	アオダイショウ	○				*	*	C	C	C	○	○				上谷刈		
	1目	3科	3種	2種	2種	0種	1種	3種	3種	3種	2種	2種	3種	3種	0種	0種	0種			

※1: 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)
 ※2: 国RL: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種
 県RL: 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種
 天記: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)
 種保存法: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)
 ※3: 種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編)」(平成5年12月 環境庁) に準拠した。

表3.1.4-12 注目すべき動物種【両生類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
				①	②	③	学術上重要な種	注目種							ふれあい保全種					
								減少種												
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種	ふれあい保全種						
1	サンショウウオ	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○			1,4	*	C	B				○		NT	NT	丸田沢ため池		
2	カエル	アカガエル	タゴガエル		○			*	C	B				○				大和町宮床地区		
3			ニホンアカガエル	○	○			*	*	B	*	C						根白石, 大和町宮床地区		
	2目	2科	3種	2種	2種	0種	1種	3種	3種	3種	1種	1種	2種	0種	1種	1種	0種			

※1: 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
 ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)
 ※2: 国RL: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種
 県RL: 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種
 天記: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)
 種保存法: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)
 ※3: 種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編)」(平成5年12月 環境庁) に準拠した。

表3.1.4-13 注目すべき動物種【魚類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	○			1	B	B		A				○	VU	NT		七北田川		
2	ウナギ	ウナギ	ウナギ	○		○	1	A	B	B	B	B	○		EN	NT		七北田川			
3	コイ	コイ	ウグイ	○		○		*	C	B	C	C	○	○					七北田川		
4		ドジョウ	ドジョウ			○									DD				大和町宮床地区		
5	サケ	アユ	アユ	○					C	C	C	C	○	○					七北田川		
6	カサゴ	カジカ	カジカ	○		○		C	C	A			○	○	NT				七北田川		
	5目	6科	6種	5種	1種	4種	2種	4種	5種	4種	4種	3種	4種	4種	4種	4種	2種	0種			

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編）」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.1.4-14 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種													
								減少種					ふれあい保全種								
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜		環境指標種							
1	トンボ	カワトンボ	アオハダトンボ	○					C	A						○	NT		七北田川		
2		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	○			1,4		C						○				丸田沢		
3		サナエトンボ	ホンサナエ	○					B								VU		将監		
4			ナゴヤサナエ	○			1,2			C							VU	CR+EN	将監沼、七北田川		
5		オニヤンマ	オニヤンマ	○				*	B						○				丸田沢緑地		
6		ヤンマ	ヤブヤンマ	○					B		B						VU		将監、丸田沢緑地、朴沢		
7		トンボ	キトンボ	○			1		A	A							VU		将監		
8			ナツアカネ		○				C		C		○	○					大和町宮床地区		
9			ノシメトンボ		○				C		C		○	○					大和町宮床地区		
10			ヒメアカネ	○			1		B	A							CR+EN		将監		
11			リスアカネ	○					B	A							VU		将監		
12	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	○				*	C	C					○				朴沢、丸田沢		
13	バッタ	バッタ	トノサマバッタ	○	○			*	C	*					○				朴沢、大和町宮床地区		
14	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	○			1		B	A	A					NT	NT		朴沢		
15	コウチュウ	ハンミョウ	ハンミョウ	○					B	B									朴沢		
16		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	○					C	B	B					NT			朴沢		
17			ゲンゴロウ	○			1			B	B			○	VU	NT			朴沢		
18		クワガタムシ	ミヤマクワガタ	○	○				C	B			○	○					朴沢、大和町宮床地区		
19		タマムシ	ツシマムツボシタマムシ	○			1		C										朴沢		
20		ホタル	ゲンジボタル	○			1		C	B	C		○	○			NT		朴沢		
21	ハチ	コマユバチ	ウマノオバチ			○										NT					
22	チョウ	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種	○			1		C	B									館		
23		ジャノメチョウ	ジャノメチョウ		○				C	C	C			○					大和町宮床地区		
	7目	17科	23種	19種	5種	1種	9種	0種	20種	16種	10種	0種	6種	9種	6種	9種	0種				

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(無脊椎動物編II)」（平成7年4月 環境庁）に準拠した。

2) 保全上重要な動物の生息地の状況

「平成22年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)における保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準は、表3.1.4-5に示したとおりであり、調査範囲において動物生息地として重要な地域は、表3.1.4-15及び図3.1.4-3に示すとおりである。

計画地は、動物生息地として重要な地域に含まれていない。

表3.1.4-15 動物生息地として重要な地域

No.	件名	対象動物	備考	判断理由
1	泉ヶ岳から根白石への緑の回廊	動物全般	市域北部の動物生息環境、移動路として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。	2, 8
2	七北田川(中流域～河口)	哺乳類、鳥類	川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくなってきている。	2, 8
3	丸田沢緑地(水の森公園)	動物全般	市街地に残された池沼を含む緑地・公園である。市街地に残された動物の生息地、環境学習のフィールドとして重要である。	6, 7

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

注) 表中のNo. は図3.1.4-3の番号に対応する。判断理由は表3.1.4-5に対応する。

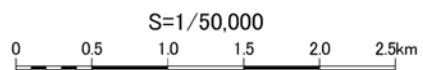


凡 例

- 計画地
- 市町界
- 動物生息地として重要な地域

※図中の番号は、表3.1.4-15に対応する。
 出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

図3.1.4-3 動物生息地として重要な地域



(3) 生態系

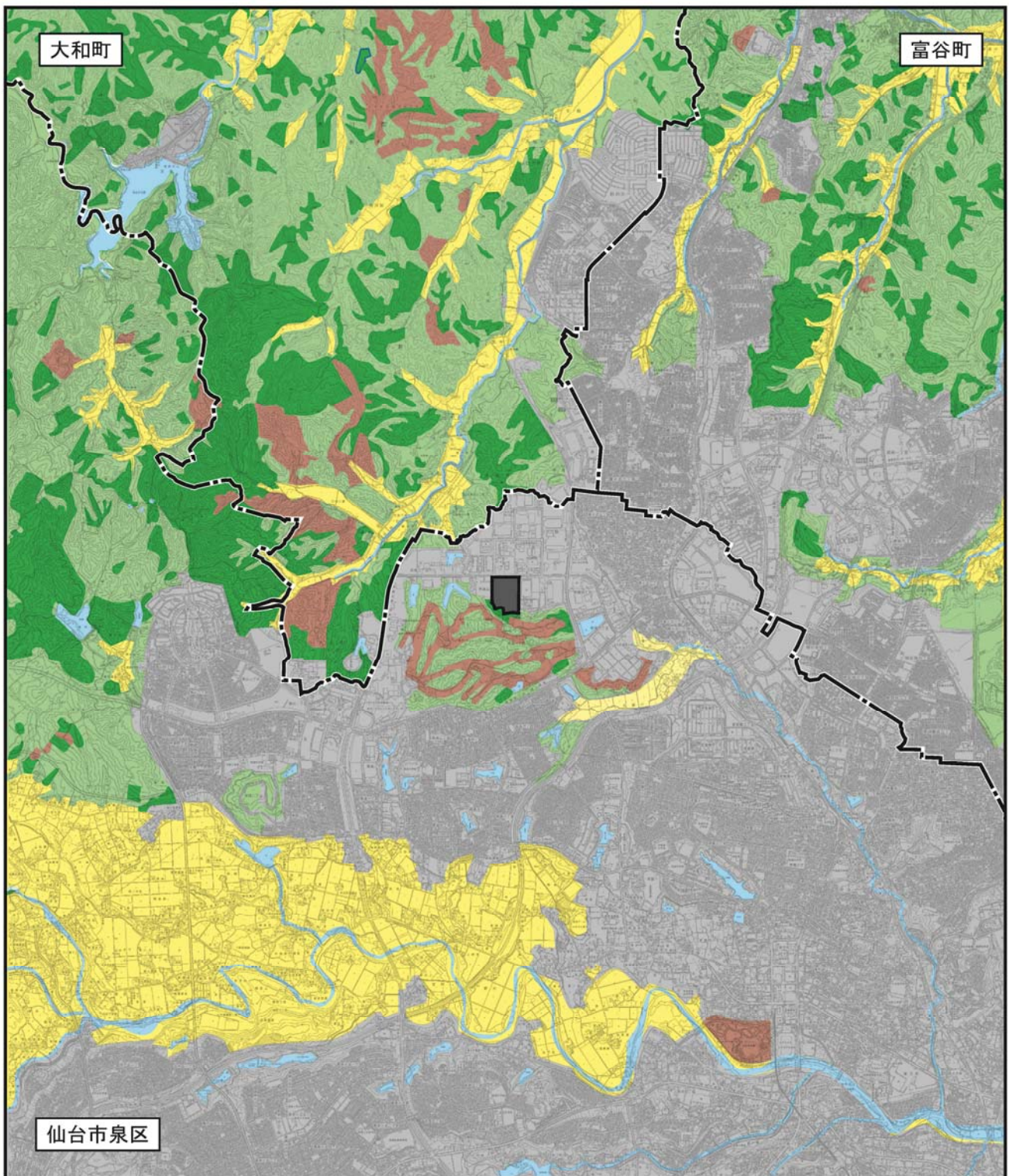
計画地周辺の地形をみると、北西部から中央部を中心に山地及び丘陵地が、南部を中心に台地及び段丘が広がっており、北部から北東部にかけては両者がモザイク状に混在している。また、南部を西から東方向へと向かって流れる七北田川沿いを中心に一部、河岸平地や谷底平地等の低地も存在している。

計画地周辺の植生をみると、最も広域を占めたのは中央部から南東部を中心に広がる市街地であった。北西部及び北東部にはスギ・ヒノキ・サワラ植林を中心とした常緑針葉樹林や、クリーコナラ群集から成る落葉広葉樹林が、南部の七北田川沿いには水田雑草群落が広がっている。

これらの地形や植生の状況を基に、計画地周辺の環境を図3. 1. 4-4に示す6種類の自然環境類型区分に整理した。

以上を踏まえると、北西部から中央部を中心として、「山地や丘陵地」の森林環境を基盤とした生態系が形成されているとともに、南部には、西から東方面へと向かって流れる七北田川沿いに河岸平地や谷底平地等の「低地」の農耕地や七北田川沿いの草地及び水域を基盤とした生態系が形成されていることが分かる。

なお、計画地は人工改変地に属しており、生物の主要な生息・生育環境ではない。



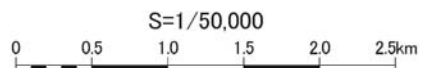
凡 例

- 計画地
- 市町界

凡 例	
記号	名称等
	山地及び丘陵地
	常緑針葉樹林
	落葉広葉樹林
	二次草地
	台地及び段丘、低地
	農耕地
	水域
	人工改変地

注) 自然環境類型区分図を作成する際に参考にした文献を以下に示す。
 「1:50,000 地形図 仙台」(平成13年委部修正 国土地理院)
 「1:50,000 地形図 吉岡」(平成7年修正 国土地理院)
 「土地分類基本調査図 地形・地質・土じょう 仙台」(昭和42年3月 経済企画庁)
 「土地分類基本調査図 地形分類図(都道府県土地分類基本調査) 吉岡」(昭和55年3月 宮城県)
 「宮城県河川・海岸図」(平成25年3月 宮城県土木部河川課)
 「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000 植生図(根白石)(富谷町)平成14年度調査」
 (<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
 「平成21年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成22年3月 仙台市)

図3.1.4-4 自然環境類型区分図



3.1.5 景観等

(1) 景観

調査範囲における主要な自然的景観資源及び文化的景観資源並びに主要な眺望地点は、表3.1.5-1及び図3.1.5-1に示すとおりである。

1) 自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

自然的景観資源としては、「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」（平成14年3月、仙台市）などにおいて、桜や紅葉の名所として寺岡山や寺岡中央公園、桂島緑地などが挙げられている。また、七北田川沿いの七北田公園には、広々とした芝生広場があり、休日には家族連れで賑わい、市内有数の憩いの場になっている。

文化的景観資源としては、賀茂神社、覚照寺と伊達御廟といった社寺・歴史的建築物のほか、長命館跡が分布している。

2) 眺望地点の分布

主要な眺望地点は、寺岡山やそのふもとの寺岡中央公園が挙げられる。また、長命館跡には展望台があり、仙台市内の街並みをはじめ、遠くは仙台港や七ツ森も一望できる。

大和町のあさひな湖畔公園は、宮床ダムを望む芝の公園が広がり、富谷町の富ヶ岡公園は、船形連峰、蔵王連峰が眺望できる桜の名所である。

表 3.1.5-1 主要な景観資源及び眺望地点の一覧

No.	名所名称	所在地	景観資源		眺望地点	文献								
			自然的景観資源	文化的景観資源		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	寺岡山と寺岡中央公園	泉区寺岡二丁目	●		●					●				
2	高森公園	泉区高森二丁目	●		●					●				
3	高森東公園	泉区高森六丁目	●		●					●				
4	桂島緑地	泉区桂一丁目	●		●					●				
5	将監風致公園	泉区将監十丁目	●							●				
6	七北田公園	泉区七北田字赤生津	●							●				
7	賀茂神社	泉区古内字糺1		●						●				
8	長命館跡	泉区加茂二丁目	●	●	●					●				
9	堂庭山	泉区根白石堂所山	●		●				●					
10	覚照寺と伊達御廟	大和町宮床大櫓69		●					●		●			
11	あさひな湖畔公園	大和町宮床字摺萩	●		●				●		●			
12	宮城大学大和キャンパス	大和町学苑1	●								●			
13	富ヶ岡公園	富谷町富谷字町南裏	●		●									●
14	成田せせらぎ緑道	富谷町成田五丁目25	●		●									●
15	成田東公園	富谷町成田三丁目	●											●
16	成田西公園	富谷町成田九丁目4	●											●
17	わかば公園の樹木・彫刻	大和町もみじヶ丘三丁目	●					●						
18	泉ヶ岳などの山並 小野地区雑木林の眺望	大和町もみじヶ丘一丁目	●		●			●						

出典：文献①：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

文献②：「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町)

文献③：「みやぎ・身近な景観百選」(宮城県ホームページ)

文献④：「みやぎ伊達な観光マップ」(2011年みやぎ伊達な観光マップ)

文献⑤：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)

文献⑥：「大和町観光ガイド」(大和町ホームページ)

文献⑦：「富谷集遊 富谷の観光情報」(富谷町ホームページ)

注) 表中のNo. は図 3.1.5-1 の番号に対応する。

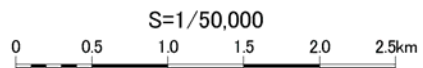


凡 例

- 計画地
- 市町界
- 主要な景観資源・眺望地点

※図中の番号は、表3.1.5-1に対応する。
 出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)
 「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町)
 「みやぎ・身近な景観百選」(宮城県ホームページ)
 「みやぎ伊達な観光マップ」(2011年みやぎ伊達な観光マップ)
 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)
 「大和町観光ガイド」(大和町ホームページ)
 「富谷集遊 富谷の観光情報」(富谷町ホームページ)

図3.1.5-1 主要な景観資源・眺望地点の分布



(2) 自然との触れ合いの場

調査範囲における自然との触れ合いの場として、「宮城県自然公園条例」に基づく県立自然公園の「県立自然公園船形連峰」や「宮城県自然環境保全条例」に基づく緑地環境保全地域の「丸田沢緑地環境保全地域」がある（図3.2.6-1参照）。また、都市計画公園、都市計画緑地、都市公園が多数存在するとともに（表3.1.5-2(1)～(2)及び図3.1.5-2(1)～(2)参照）、「(1)景観」に示した堂庭山や宮城大学大和キャンパス等についても、自然との触れ合いの場として挙げられる（図3.2.5-1参照）。

なお、計画地には、これら自然との触れ合いの場は存在しない。

表 3.1.5-2(1) 自然との触れ合いの場（都市公園等）の一覧

行政区	区分	番号	名称	所在地
仙台市 泉区	都市計画公園	2-I-14	明通三丁目西公園	泉区明通三丁目32
		2-I-10	明通四丁目公園	泉区明通四丁目14-1外
		1-I-108	寺岡六丁目公園	泉区寺岡六丁目12-8
		3-I-3	寺岡中央公園	泉区寺岡二丁目12-9外
		1-I-127	寺岡二丁目公園	泉区寺岡二丁目5-1
		1-I-107	寺岡一丁目公園	泉区寺岡一丁目12-29
		1-I-18	高森二丁目公園	泉区高森二丁目1-13
		1-I-17	高森一丁目西公園	泉区高森一丁目1-90
		1-I-16	高森一丁目東公園	泉区高森一丁目1-193
		1-I-20	高森三丁目北公園	泉区高森三丁目4-37
		1-I-19	高森三丁目南公園	泉区高森三丁目4-348
		1-I-21	高森四丁目公園	泉区高森四丁目2-390
		1-I-149	高森六丁目公園	泉区高森六丁目15-1
		2-I-9	高森東公園	泉区高森六丁目1-3
		1-I-148	高森五丁目公園	泉区高森五丁目28-1
		1-I-151	高森八丁目公園	泉区高森八丁目17-1
		1-I-150	高森七丁目公園	泉区高森七丁目39-1
		1-I-140	高森七丁目南公園	泉区高森七丁目10-1
		1-I-135	北高森公園	泉区北高森4-1外
		2-I-12	桂中央公園	泉区桂二丁目34-1
		1-I-173	桂二丁目公園	泉区桂二丁目6-6
		1-I-180	桂三丁目公園	泉区桂三丁目13-4外
		1-I-181	桂四丁目公園	泉区桂四丁目29-1
		1-I-7	将監十三丁目公園	泉区将監十三丁目1-47外
		1-I-6	将監十丁目公園	泉区将監十丁目28-72
		1-I-5	将監七丁目公園	泉区将監七丁目1-123
		1-I-255	将北いこいの公園	泉区将監殿五丁目30
	1-I-256	将北4号公園	泉区将監殿四丁目23	
	1-I-254	将北2号公園	泉区将監殿三丁目27	
	都市計画緑地	11-I-4	明通三丁目緑地	泉区明通三丁目
		11-I-3	高森緑地	泉区高森五丁目地内
		12-I-3	桂緑地	泉区桂一丁目、二丁目
		11-I-5	桂島緑地	泉区桂一丁目
11-I-21		将北緑地	泉区将監殿二丁目・三丁目・四丁目・五丁目	

出典：「仙台市公園・緑地等配置図 平成25年4月」（仙台市）

注）表中に示す公園は、図3.1.5-2(2)中の公園を示した。

表 3.1.5-2(2) 自然との触れ合いの場（都市公園等）の一覧

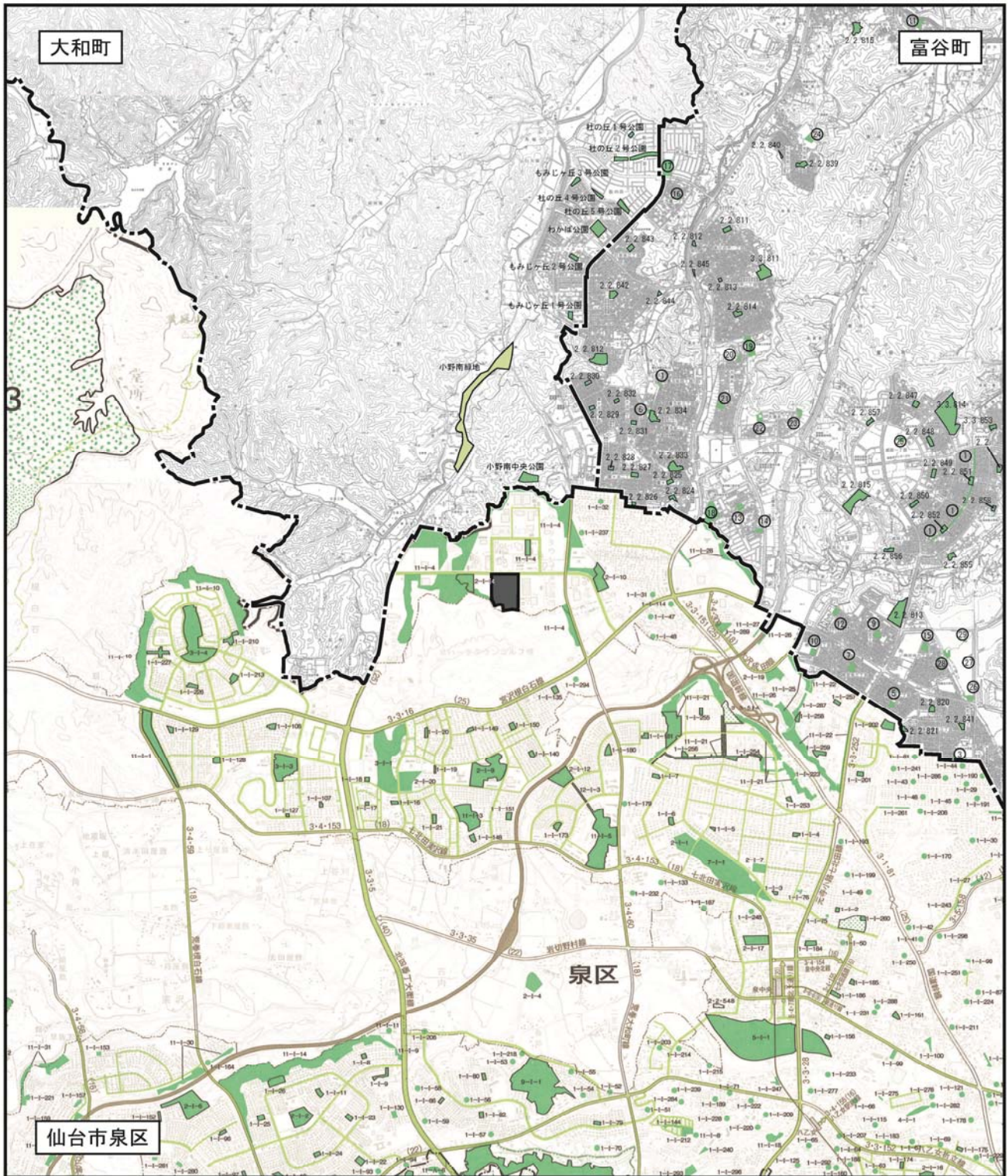
行政区	区分	番号	名称	所在地		
仙台市 泉区	都市公園	11-I-4	明通緑地	泉区明通三丁目16外		
		1-I-32	泉ヶ丘五丁目公園	泉区泉ヶ丘五丁目46-1294		
		1-I-237	大沢明通公園	泉区七北田字大沢明通21-6		
		11-I-28	大沢三丁目緑地	泉区大沢三丁目11, 12		
		1-I-31	泉ヶ丘二丁目公園	泉区泉ヶ丘二丁目9-119		
		1-I-114	泉ヶ丘一丁目東公園	泉区泉ヶ丘一丁目9-86		
		1-I-47	泉ヶ丘一丁目西公園	泉区泉ヶ丘一丁目61-43外		
		1-I-48	南タウン公園	泉区七北田字大沢相の沢36-23		
		1-I-289	大沢二丁目公園	泉区大沢二丁目11-1		
		11-I-27	大沢二丁目緑地	泉区大沢二丁目41		
		3-I-1	高森西公園	泉区高森二丁目1-1外		
		2-I-20	高森中央公園	泉区高森三丁目4-343		
		1-I-294	北高森みはらしの丘公園	泉区北高森30-1外		
		1-I-179	将監十三丁目西公園	泉区桂一丁目15-2		
		2-I-1	将監公園	泉区将監一丁目28-117		
		7-I-1	将監風致公園	泉区将監八丁目28-43外		
		2-I-7	将監ふれあい公園	泉区将監八丁目1-93		
		11-I-21	将北緑地	泉区将監五丁目119外		
		大和町	都市公園	2. 2. 704	もみじヶ丘 1 号公園	大和町もみじヶ丘一丁目29番
				-	小野南緑地	大和町小野字蛇石山
3. 3. 703	小野南中央公園			大和町小野字蛇石山		
富谷町	都市計画公園	3. 3. 812	日吉台公園	富谷町日吉台一丁目24番1		
		2. 2. 830	富ヶ丘三丁目第 2 公園	富谷町富ヶ丘三丁目21番		
		2. 2. 829	富ヶ丘三丁目第 1 公園	富谷町富ヶ丘三丁目14番		
		2. 2. 832	富ヶ丘四丁目第 2 公園	富谷町富ヶ丘四丁目16番		
		2. 2. 831	富ヶ丘四丁目第 1 公園	富谷町富ヶ丘四丁目6番		
		2. 2. 834	鷹乃杜二丁目公園	富谷町鷹乃杜二丁目21番		
		2. 2. 828	富ヶ丘二丁目第 3 公園	富谷町富ヶ丘二丁目32番		
		2. 2. 827	富ヶ丘二丁目第 2 公園	富谷町富ヶ丘二丁目13番		
		2. 2. 826	富ヶ丘二丁目第 1 公園	富谷町富ヶ丘二丁目19番		
		2. 2. 833	鷹乃杜一丁目公園	富谷町鷹乃杜一丁目4番		
		2. 2. 825	富ヶ丘一丁目第 2 公園	富谷町富ヶ丘一丁目7番		
		2. 2. 824	富ヶ丘一丁目第 1 公園	富谷町富ヶ丘一丁目17番		
		2. 2. 814	あけの平三丁目公園	富谷町あけの平三丁目6番9		
		都市公園	①	鷹乃杜三丁目公園	富谷町鷹乃杜三丁目	
	⑥		富ヶ丘四丁目第 3 公園	富谷町富ヶ丘四丁目26番		
	⑱		大清水一丁目第 1 公園	富谷町大清水一丁目3番3		
	⑳		大清水一丁目第 2 公園	富谷町大清水一丁目74番		
	㉑		大清水一丁目第 3 公園	富谷町大清水一丁目22番2		
		⑱	上桜木一丁目第 1 公園	富谷町上桜木一丁目10番1		
	⑬	上桜木一丁目第 2 公園	富谷町上桜木一丁目43番2			

出典：「仙台市公園・緑地等配置図 平成25年4月」（仙台市）

「大和町都市計画総括図 平成23年9月」（大和町）

「富谷町都市計画総括図 平成26年8月」（富谷町）

注）表中に示す公園は、図3.1.5-2(2)中の公園を示した。



凡例

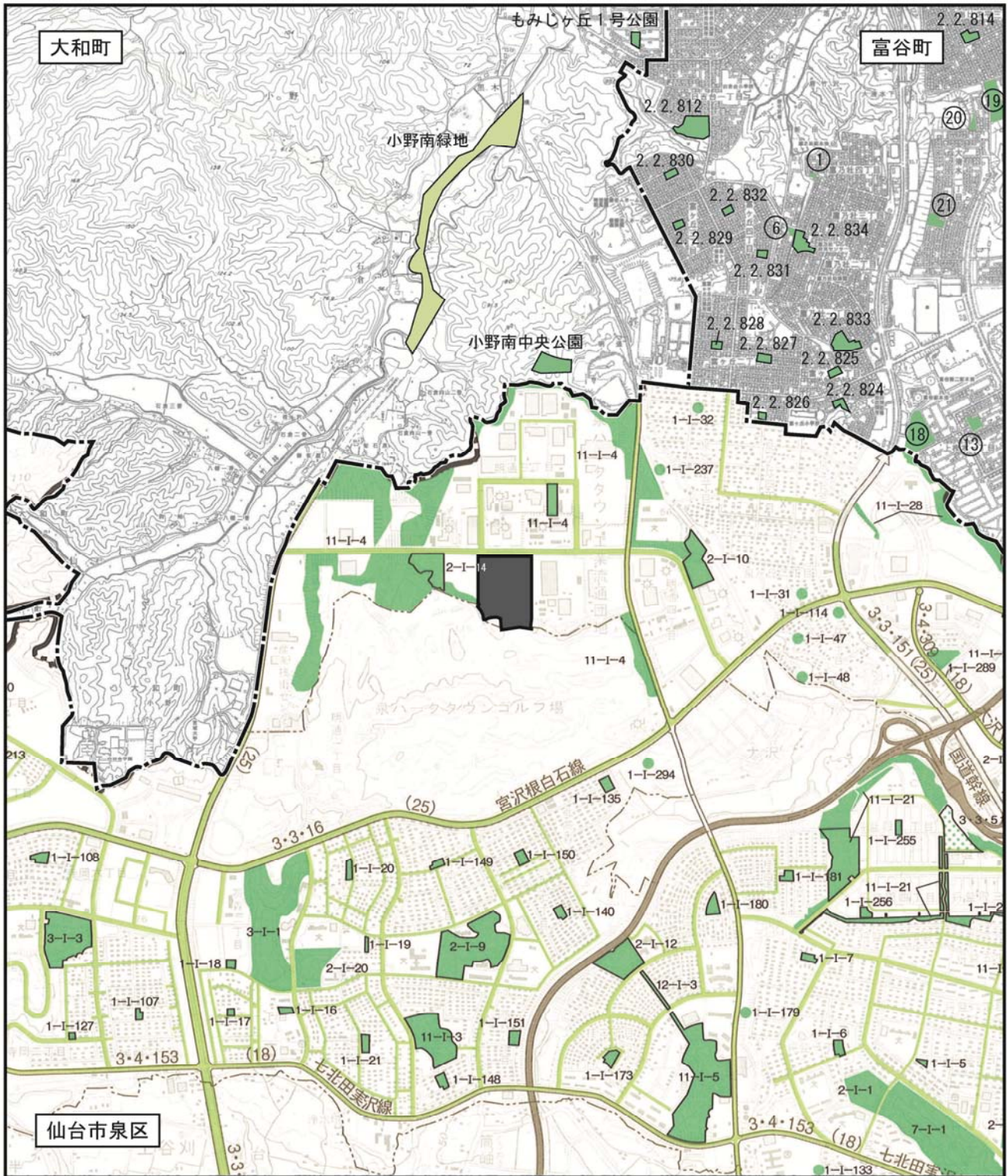
- | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|--|--------|--|---------------|--|------------------------|--|--------------------|--|------------------------|
| | 行政界 | | 計画地 | | 市町界 | | 都市計画公園 | | 県自然環境保全地域(宮城県) | | 特別環境保全区域(広瀬川の清流を守る条例) |
| | 区境 | | 都市公園 | | 緑地環境保全地域(宮城県) | | 第一種環境保全区域(広瀬川の清流を守る条例) | | 自然休養林 | | 第二種環境保全区域(広瀬川の清流を守る条例) |
| | 総合支所境 | | 都市計画緑地 | | 特別緑地保全地区 | | 街路樹 | | 保存緑地(社の都の環境をつくる条例) | | |
| | 市街化区域 | | 都市計画墓園 | | 風致地区 | | | | | | |
| | 都市計画区域 | | | | | | | | | | |

出典:「富谷町都市計画総括図 平成26年8月」(富谷町)「大和町都市計画総括図 平成23年9月」(大和町)
「仙台市公園・緑地等配置図 平成25年4月」(仙台市)

図3.1.5-2(1)
自然との触れ合いの場(都市公園等)の分布

S=1/50,000
0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5km



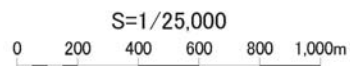


凡 例

- | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------|--|--------|--|------------------------|--|--------------------|--|-------|--|----------------------------|--|----------------------------|
| | 行政界 | | 計画地 | | 市町界 | | 都市計画公園 | | 都市公園 | | 県自然環境保全地域
(宮城 県) | | 特別環境保全区域
(広瀬川の清流を守る条例) |
| | 区 境 | | 都市計画緑地 | | 都市計画墓園 | | 緑地環境保全地域
(宮城 県) | | 自然休養林 | | 第一種環境保全区域
(広瀬川の清流を守る条例) | | 第二種環境保全区域
(広瀬川の清流を守る条例) |
| | 総合支所境 | | 風致地区 | | 保存緑地
(社の都の環境をつくる条例) | | 特別緑地保全地区 | | 街路樹 | | | | |

出典:「富谷町都市計画総括図 平成26年8月」(富谷町)「大和町都市計画総括図 平成23年9月」(大和町)
「仙台市公園・緑地等配置図 平成25年4月」(仙台市)

図3.1.5-2(2)
自然との触れ合いの場(都市公園等)の分布(拡大図)



(3) 文化財

調査範囲における指定文化財（建造物、天然記念物）の分布状況は、表3.1.5-3～5及び図3.1.5-3に示すとおりである。なお、調査範囲に登録文化財は存在しない。

調査範囲には、宮城県指定建造物の「賀茂神社本殿 附 棟札2枚」がある。天然記念物としては、国指定の「カモシカ」、宮城県指定の「賀茂神社のイロハモミジ」、「賀茂神社のタラヨウ」、仙台市指定の「賀茂神社のアラカシ」、富谷町指定の「かめ杉」がある。調査範囲に史跡、名勝は存在しない。

なお、計画地に指定文化財等は存在しない。

表3.1.5-3 指定文化財の状況（国指定文化財）

No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
記念物／特別天然記念物					
1	カモシカ		地域を定めず指定したもの		昭和30年2月15日

出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成27年3月1日現在 仙台市教育委員会ホームページ)

※カモシカは地域の定めがないため、図3.1.5-3において図示しない。

表3.1.5-4 指定文化財の状況（県指定文化財）

No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財／建造物					
2	賀茂神社本殿 附 棟札2枚	2棟	泉区古内字糺1	賀茂神社	昭和39年9月4日
天然記念物					
3	賀茂神社のイロハモミジ	2本	泉区古内字糺1	賀茂神社	平成11年7月2日
4	賀茂神社のタラヨウ	1本	泉区古内字糺1	賀茂神社	平成11年7月2日

出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成27年3月1日現在 仙台市教育委員会ホームページ)

注) 表中のNo.は図3.1.5-3の番号に対応する。

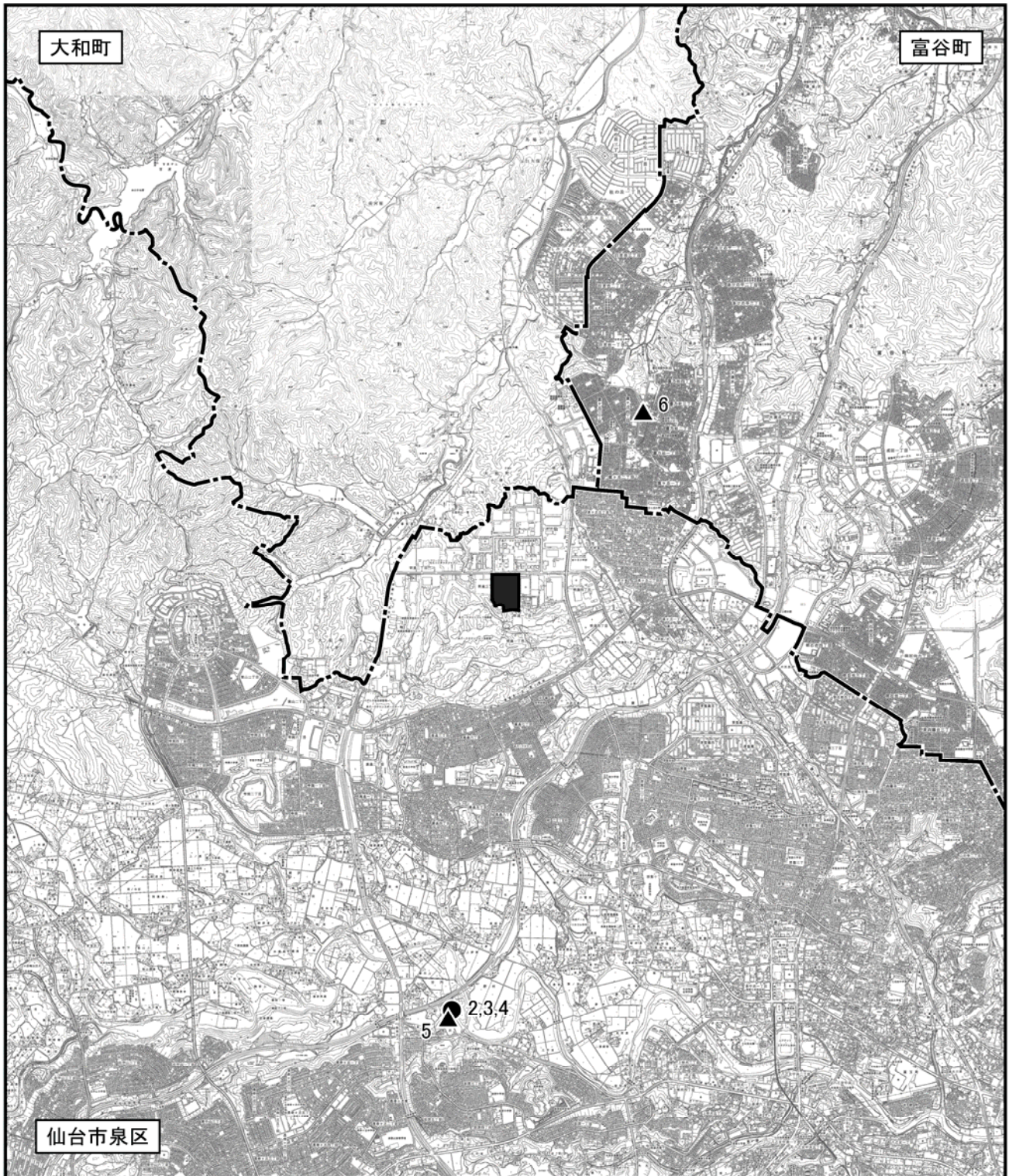
表3.1.5-5 指定文化財の状況（市町指定文化財）

No.	名称	所在地	指定年月日
天然記念物			
5	賀茂神社のアラカシ	泉区古内字糺1	昭和60年4月25日
6	かめ杉	富谷町鷹乃杜二丁目公園	昭和44年12月5日

出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成27年3月1日現在 仙台市教育委員会ホームページ)

「くらしのガイド」(富谷町ホームページ)

注) 表中のNo.は図3.1.5-3の番号に対応する。



凡 例

- 計画地
- 県指定文化財
- 市町界
- 市町指定文化財

※国指定特別天然記念物のカモシカは地域の定めがないため、図示しない。

※図中の番号は、表3.1.5-4及び表3.1.5-5に対応する。
 出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成27年3月1日現在 仙台市教育委員会ホームページ)
 「くらしのガイド」(富谷町ホームページ)

図3.1.5-3 指定文化財等の分布状況



(4) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況は、表3.1.5-6(1)～(2)、図3.1.5-4に示すとおりである。

なお、計画地及びその付近に埋蔵文化財は存在しない。

表3.1.5-6(1) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

No.	名称	所在地	種別	時代
泉区				
1	堂所山遺跡	根白石	散布地	縄文
2	宮床山遺跡	根白石	散布地	縄文
3	堂庭廃寺	根白石字堂庭山	寺院	平安
4	大沢台遺跡	大沢三丁目	散布地	縄文
5	大沢大ヶ沢遺跡	七北田大沢大ヶ沢	散布地	縄文晩
6	永仁の碑	七北田大沢上前	板碑	鎌倉
7	銅谷遺跡	根白石	散布地	縄文
8	青笹山遺跡	根白石青笹山	散布地	旧石器・縄文
9	針生山遺跡	根白石針生山	散布地	縄文
10	養賢堂遺跡	根白石上田	散布地	縄文
11	紫山遺跡	寺岡三丁目	集落	縄文早～中
12	寺岡廃寺	寺岡二丁目	寺院	中・近世
13	小岳館跡	小角館	城館	中世
14	ドウコン塚	実沢十文字	塚	不明
15	八乙女館跡	実沢道祖神	城館	中世
16	山野内館跡	北中山一丁目	城館	中世
17	戸平鍛冶跡	北中山四丁目	製鉄	不明
18	関の上遺跡	古内南	散布地	縄文
19	宮下遺跡	古内野合	集落	奈良・平安
20	洞雲寺遺跡	山の寺二丁目	寺院,包含地	縄文・江戸
21	新道遺跡	市名坂新道	散布地	縄文
22	鳥井原遺跡	天神沢一丁目	散布地	縄文
23	天神沢遺跡	天神沢一丁目	散布地	縄文
24	長命館跡	加茂二丁目	城館	中世(鎌倉)
25	沼遺跡	上谷刈字山下、塚、遠聖堂ほか	集落跡,古墳・墓,生産遺跡,道路・運河関係	縄文・古代・中世・近世
26	赤生津遺跡	七北田字赤生津	生産遺跡,包含地	平安・縄文
27	柳遺跡	七北田柳	散布地	古代
28	石止遺跡	市名坂石止	散布地	平安
29	高柳遺跡	七北田字高柳	集落跡,古墳・墓,包含地	縄文
30	貴富祢遺跡	上谷刈五丁目	散布地	縄文・平安
31	鹿島遺跡	市名坂高倉	集落	平安
32	境B遺跡	八乙女四丁目	散布地	縄文中
33	境A遺跡	八乙女四丁目	散布地	古代
34	上河原遺跡	松森中河原	散布地	古代

出典:「仙台市の遺跡」(仙台市文化財課)

「宮城県遺跡地図情報」(宮城県文化財保護課)

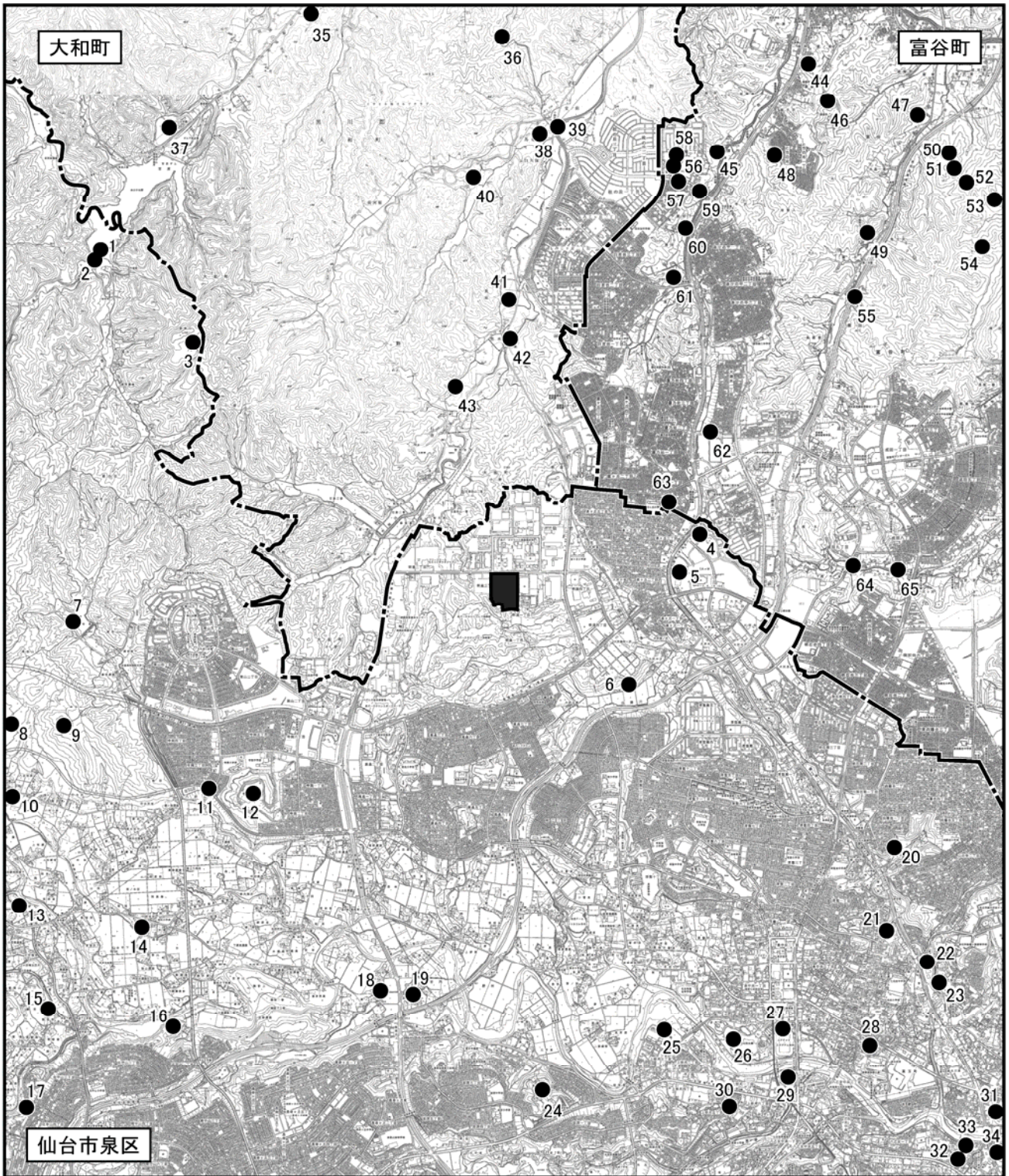
注) 表中の No.は図 3.1.5-4 の番号に対応する。

表3.1.5-6(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

No.	名称	所在地	種別	時代
大和町				
35	大櫛遺跡	宮床字大櫛	製鉄	不明
36	磯ヶ沢遺跡	宮床字磯ヶ沢	散布地	縄文
37	摺萩遺跡	宮床字摺萩	集落	縄文早～晩・平安
38	小野A遺跡	小野字向田	集落	縄文中・後
39	小野向田遺跡	小野字向田	散布地	古代
40	赤坂遺跡	小野字赤坂	散布地	縄文後
41	長原上遺跡	小野字後藤地内	散布地	縄文・古代
42	長原C遺跡	小野字新道	散布地	縄文・平安
43	長原窯跡	小野字長原	窯跡	不明
富谷町				
44	南楯城跡	富谷字湯舟沢	城館	中世
45	宮の沢遺跡	宮の沢	散布地	古代
46	湯舟沢遺跡	富谷字湯舟沢	散布地	縄文早・前
47	小国館跡	穀田字水神沢	城館	中世
48	栃木沢遺跡	富谷字朽木沢	散布地	縄文早・前
49	鹿鼻館跡	穀田字丸森	城館	中世
50	穀田十三塚	穀田字石沢	十三塚	近世
51	穀田経塚	穀田字石沢	経塚	中世
52	郷田塚	西成田字郷田	塚	中世・近世
53	郷田B塚	西成田字郷田	塚	中世？
54	兵六館跡	西成田字郷田	散布地・城館	縄文・奈良・平安・中世
55	菅ノ沢遺跡	穀田字菅ノ沢	散布地	縄文・平安
56	熊谷館跡	富谷字落合	城館	中世
57	熊谷A遺跡	富谷字落合	散布地	中世・近世
58	熊谷B遺跡	富谷字落合	散布地	中世・近世
59	源内遺跡	富谷字源内	散布地	平安
60	落合遺跡	富谷字落合	散布地	平安
61	日吉神社前遺跡	富谷字熊谷	散布地	縄文晩・弥生
62	大清水上遺跡	字大清水	散布地	平安
63	大清水遺跡	富谷字大清水上	散布地	縄文早～中・晩
64	上桜木製鉄遺跡	明石字上桜木	製鉄	平安？
65	下桜木製鉄遺跡	明石字下桜木	製鉄	平安？

出典：「宮城県遺跡地図情報」(宮城県文化財保護課)

注) 表中の No.は図 3.1.5-4 の番号に対応する。

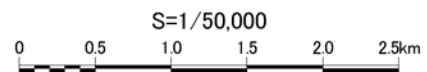


凡 例

- 計画地
- 市町界
- 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)

※図中の番号は、表3.1.5-6(1)～(2)に対応する。
 出典:「仙台市の遺跡」(仙台市文化財課)
 「宮城県遺跡地図情報」(宮城県文化財保護課)

図3.1.5-4 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況



3.2 社会的状況等

3.2.1 人口及び産業

(1) 人口

住民基本台帳による仙台市、計画地が位置する泉区、大和町及び富谷町の人口、世帯数及び人口密度は、表3.2.1-1に示すとおりである。

また、人口及び世帯数の推移は、表3.2.1-2に示すとおりである。全ての市町で人口、世帯数はともに概ね増加傾向にあるが、一世帯当たりの人員は減少傾向を示している。泉区の人口は217,139人、世帯数は91,671世帯、一世帯当たりの人員は2.37人/世帯であり、仙台市全体の2.15人/世帯よりも多い。

人口動態の推移は、表3.2.1-3に示すとおりである。平成26年の泉区以外では、各市町とも自然動態及び社会動態を合わせた人口増減数及び増減率は増加で推移している。

表3.2.1-1 人口・世帯数・人口密度

平成26年12月末現在

市町	人口(人)			世帯数 (世帯)	人口密度 (人/k㎡)
	総数	男	女		
仙台市	1,053,509	511,190	542,319	490,085	1,340
泉区	217,139	105,355	111,784	91,671	1,481
大和町	27,751	14,188	13,563	10,602	123
富谷町	51,836	25,505	26,331	18,118	1,054

出典:「住民基本台帳人口及び世帯数(年報)」

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/311689.pdf> (宮城県)

表3.2.1-2 人口・世帯数の推移

各年12月末現在

年次	人口(人)			
	仙台市	泉区	大和町	富谷町
平成22年	1,016,096	211,398	25,316	47,924
平成23年	1,022,664	212,989	26,115	49,033
平成24年	1,042,686	216,342	26,601	50,038
平成25年	1,049,578	217,463	27,205	51,138
平成26年	1,053,509	217,139	27,751	51,836
年次	世帯数(世帯)			
	仙台市	泉区	大和町	富谷町
平成22年	455,875	85,576	9,104	16,228
平成23年	462,589	87,155	9,522	16,744
平成24年	477,259	89,607	9,830	17,192
平成25年	484,364	90,971	10,209	17,712
平成26年	490,085	91,671	10,602	18,118
年次	世帯あたり人員(人/世帯)			
	仙台市	泉区	大和町	富谷町
平成22年	2.23	2.47	2.78	2.95
平成23年	2.21	2.44	2.74	2.93
平成24年	2.18	2.41	2.71	2.91
平成25年	2.17	2.39	2.66	2.89
平成26年	2.15	2.37	2.62	2.86

注)「住民基本台帳法の一部を改正する法律(平成21年法律第77号)」の施行により、平成24年7月以降の人口及び世帯数については、外国人も含まれた数値である。

出典:「宮城県住民基本台帳人口及び世帯数の推移」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/juki-nen.html> 宮城県

表3.2.1-3 人口動態の推移

単位:人

市町	年次	自然動態			社会動態			人口増減数 (A+B)	増減率 (%)
		出生者数	死亡者数	増減数 (A)	転入者数	転出者数	増減数 (B)		
仙台市	平成22年	9,365	7,383	1,982	65,060	63,828	1,232	3,214	0.32
	平成23年	8,867	8,839	28	75,085	68,545	6,540	6,568	0.65
	平成24年	9,448	7,900	1,548	72,240	62,867	9,373	10,921	1.07
	平成25年	9,741	8,114	1,627	70,567	65,302	5,265	6,892	0.66
	平成26年	9,306	8,244	1,062	69,874	67,005	2,869	3,931	0.37
泉区	平成22年	1,735	1,288	447	12,026	11,846	180	627	0.30
	平成23年	1,720	1,448	272	13,212	11,893	1,319	1,591	0.75
	平成24年	1,761	1,385	376	13,402	11,280	2,122	2,498	1.17
	平成25年	1,769	1,474	295	12,474	11,648	826	1,121	0.52
	平成26年	1,712	1,476	236	11,141	11,701	-560	-324	-0.15
大和町	平成22年	233	219	14	1,744	1,195	549	563	2.27
	平成23年	282	237	45	1,844	1,090	754	799	3.16
	平成24年	254	251	3	1,612	1,236	376	379	1.45
	平成25年	275	254	21	1,895	1,312	583	604	2.27
	平成26年	284	231	53	1,767	1,274	493	546	2.01
富谷町	平成22年	470	244	226	2,590	1,807	783	1,009	2.15
	平成23年	451	217	234	2,627	1,752	875	1,109	2.31
	平成24年	450	217	233	2,446	1,796	650	883	1.80
	平成25年	455	246	209	2,761	1,870	891	1,100	2.20
	平成26年	420	271	149	2,418	1,869	549	698	1.36

注) 各年12月末現在

注) 「住民基本台帳法の一部を改正する法律(平成21年法律第77号)」の施行により、

増減率(%)=人口増減数÷当該年の前年の12月末人口×100

出典: 「平成22年～平成26年住民基本台帳人口及び世帯数(年報)」

(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/juki-nen.html 宮城県)

(2) 産業

平成17年及び平成22年の国勢調査(各年10月1日現在)による、仙台市、計画地が位置する泉区、大和町及び富谷町の産業分類別就業者数及び産業分類構成比は、表3.2.1-4~7に示すとおりである。

仙台市の平成22年における全就業者数は459,480人で、第一次産業4,005人(0.87%)、第二次産業67,162人(14.62%)、第三次産業372,941人(81.17%)、分類不能の産業15,372人(3.35%)となっている。産業分類別就業者数の割合は、第三次産業が最も高く、次いで第二次産業であり、第一次産業は1%程度である。

仙台市泉区の平成22年における全就業者数は94,176人で、第一次産業719人(0.76%)、第二次産業14,430人(15.32%)、第三次産業75,876人(80.57%)、分類不能の産業3,151人(3.35%)となっている。産業分類別就業者数の割合は、第三次産業が最も高く、次いで第二次産業であり、第一次産業は1%程度である。

大和町の平成22年における全就業者数は11,696人で、第一次産業652人(5.57%)、第二次産業3,247人(27.76%)、第三次産業7,683人(65.69%)、分類不能の産業114人(0.97%)となっている。産業分類別就業者数の割合は、第三次産業が最も高く、次いで第二次産業であり、第一次産業は5%程度である。

富谷町の平成22年における全就業者数は22,189人で、第一次産業236人(1.06%)、第二次産業4,705人(21.20%)、第三次産業16,897人(76.15%)、分類不能の産業351人(1.58%)となっている。産業分類別就業者数の割合は、第三次産業が最も高く、次いで第二次産業であり、第一次産業は1%程度である。

また、平成17年と平成22年の就業者数を比較すると、全産業では富谷町のみ増加している。

表3.2.1-4 産業分類別就業者数（仙台市）

仙台市	平成17年			平成22年			平成17～ 22年 増加率(%)
	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	
(人)		(%)	(人)		(%)		
第一次 産業	農業	4,945	1.07	農業	3,819	0.83	-22.77
	林業	66	0.01	林業	127	0.03	92.42
	漁業	89	0.02	漁業	59	0.01	-33.71
	小計	5,100	1.10	小計	4,005	0.87	-21.47
第二次 産業	鉱業	58	0.01	鉱業, 採石業, 砂利採取業	61	0.01	5.17
	建設業	41,282	8.91	建設業	37,336	8.13	-9.56
	製造業	29,387	6.34	製造業	29,765	6.48	1.29
	小計	70,727	15.26	小計	67,162	14.62	-5.04
第三次 産業	電気・ガス・熱供給・水道業	3,424	0.74	電気・ガス・熱供給・水道業	3,967	0.86	15.86
	情報通信業	16,373	3.53	情報通信業	16,695	3.63	—
	運輸業	24,661	5.32	運輸業, 郵便業	26,850	5.84	—
	卸売・小売業	111,135	23.98	卸売業, 小売業	97,709	21.27	—
	金融・保険業	14,286	3.08	金融業, 保険業	14,705	3.20	2.93
	不動産業	8,940	1.93	不動産業, 物品賃貸業	12,562	2.73	—
	—	—	—	学術研究, 専門・技術サービス業	18,408	4.01	—
	飲食店, 宿泊業	29,036	6.26	宿泊業, 飲食サービス業	32,172	7.00	—
	—	—	—	生活関連サービス業, 娯楽業	17,473	3.80	—
	教育, 学習支援業	40,861	8.82	教育, 学習支援業	28,914	6.29	—
	医療, 福祉	28,659	6.18	医療, 福祉	49,176	10.70	—
	複合サービス事業	3,903	0.84	複合サービス事業	1,939	0.42	—
	サービス業(他に分類されないもの)	78,769	17.00	サービス業(他に分類されないもの)	34,555	7.52	—
	公務(他に分類されないもの)	18,311	3.95	公務(他に分類されるものを除く)	17,816	3.88	—
	小計	378,358	81.64	小計	372,941	81.17	-1.43
その他	分類不能の産業	9,281	2.00	分類不能の産業	15,372	3.35	65.63
	合計	463,466	100.00	合計	459,480	100.00	-0.86

出典:「平成17年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm>)

「平成22年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>)

注)平成17年調査と平成22年調査では、産業分類の変更が行われているため、単純比較のできない項目は増加率を「—」とした。

表 3.2.1-5 産業分類別就業者数（泉区）

仙台市 泉区	平成17年			平成22年			平成17～ 22年 増加率(%)
	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	
(人)		(%)	(人)		(%)		
第一次 産業	農業	791	0.83	農業	671	0.71	-15.17
	林業	13	0.01	林業	39	0.04	200.00
	漁業	9	0.01	漁業	9	0.01	0.00
	小計	813	0.85	小計	719	0.76	-11.56
第二次 産業	鉱業	12	0.01	鉱業, 採石業, 砂利採取業	13	0.01	8.33
	建設業	9,483	9.90	建設業	8,146	8.65	-14.10
	製造業	6,542	6.83	製造業	6,271	6.66	-4.14
	小計	16,037	16.75	小計	14,430	15.32	-10.02
第三次 産業	電気・ガス・熱供給・水道業	793	0.83	電気・ガス・熱供給・水道業	850	0.90	7.19
	情報通信業	3,692	3.86	情報通信業	3,615	3.84	—
	運輸業	4,085	4.27	運輸業, 郵便業	4,666	4.95	—
	卸売・小売業	23,276	24.31	卸売業, 小売業	20,408	21.67	—
	金融・保険業	3,190	3.33	金融業, 保険業	3,294	3.50	3.26
	不動産業	1,827	1.91	不動産業, 物品賃貸業	2,379	2.53	—
	—	—	—	学術研究, 専門・技術サービス業	3,994	4.24	—
	飲食店, 宿泊業	4,799	5.01	宿泊業, 飲食サービス業	5,226	5.55	—
	—	—	—	生活関連サービス業, 娯楽業	3,682	3.91	—
	教育, 学習支援業	6,569	6.86	教育, 学習支援業	6,574	6.98	—
	医療, 福祉	8,627	9.01	医療, 福祉	10,315	10.95	—
	複合サービス事業	850	0.89	複合サービス事業	361	0.38	—
	サービス業(他に分類されないもの)	16,077	16.79	サービス業(他に分類されないもの)	6,988	7.42	—
	公務(他に分類されないもの)	3,634	3.79	公務(他に分類されるものを除く)	3,524	3.74	—
	小計	77,419	80.85	小計	75,876	80.57	-1.99
その他	分類不能の産業	1,491	1.56	分類不能の産業	3,151	3.35	111.33
	合計	95,760	100.00	合計	94,176	100.00	-1.65

出典:「平成17年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm>)

「平成22年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>)

注)平成17年調査と平成22年調査では、産業分類の変更が行われているため、単純比較のできない項目は増加率を「—」とした。

表 3.2.1-6 産業分類別就業者数（大和町）

大和町	平成17年			平成22年			平成17～ 22年 増加率(%)
	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	
(人)		(%)	(人)		(%)		
第一次 産業	農業	819	6.79	農業	595	5.09	-27.35
	林業	19	0.16	林業	57	0.49	200.00
	漁業	3	0.02	漁業	—	—	—
	小計	841	6.97	小計	652	5.57	-22.47
第二次 産業	鉱業	2	0.02	鉱業, 採石業, 砂利採取業	3	0.03	50.00
	建設業	1,321	10.95	建設業	1,205	10.30	-8.78
	製造業	2,413	20.01	製造業	2,039	17.43	-15.50
	小計	3,736	30.98	小計	3,247	27.76	-13.09
第三次 産業	電気・ガス・熱供給・水道業	34	0.28	電気・ガス・熱供給・水道業	42	0.36	23.53
	情報通信業	153	1.27	情報通信業	137	1.17	—
	運輸業	841	6.97	運輸業, 郵便業	971	8.30	—
	卸売・小売業	1,938	16.07	卸売業, 小売業	1,933	16.53	—
	金融・保険業	111	0.92	金融業, 保険業	185	1.58	66.67
	不動産業	57	0.47	不動産業, 物品賃貸業	131	1.12	—
	—	—	—	学術研究, 専門・技術サービス業	282	2.41	—
	飲食店, 宿泊業	471	3.91	宿泊業, 飲食サービス業	528	4.51	—
	—	—	—	生活関連サービス業, 娯楽業	505	4.32	—
	教育, 学習支援業	379	3.14	教育, 学習支援業	393	3.36	—
	医療, 福祉	815	6.76	医療, 福祉	1,068	9.13	—
	複合サービス事業	207	1.72	複合サービス事業	107	0.91	—
	サービス業(他に分類されないもの)	1,683	13.96	サービス業(他に分類されないもの)	715	6.11	—
	公務(他に分類されないもの)	755	6.26	公務(他に分類されるものを除く)	686	5.87	—
	小計	7,444	61.73	小計	7,683	65.69	3.21
その他	分類不能の産業	38	0.32	分類不能の産業	114	0.97	200.00
	合計	12,059	100.00	合計	11,696	100.00	-3.01

出典:「平成17年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm>)

「平成22年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>)

注)平成17年調査と平成22年調査では、産業分類の変更が行われているため、単純比較のできない項目は増加率を「—」とした。

表 3.2.1-7 産業分類別就業者数（富谷町）

富谷町	平成17年			平成22年			平成17～ 22年 増加率(%)
	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	産業分類(大分類)	就業者数	構成比	
(人)		(%)	(人)		(%)		
第一次 産業	農業	300	1.46	農業	222	1.00	-26.00
	林業	4	0.02	林業	11	0.05	175.00
	漁業	1	0.00	漁業	3	0.01	200.00
	小計	305	1.49	小計	236	1.06	-22.62
第二次 産業	鉱業	—	—	鉱業, 採石業, 砂利採取業	2	0.01	—
	建設業	2,393	11.66	建設業	2,286	10.30	-4.47
	製造業	2,167	10.56	製造業	2,417	10.89	11.54
	小計	4,560	22.21	小計	4,705	21.20	3.18
第三次 産業	電気・ガス・熱供給・水道業	202	0.98	電気・ガス・熱供給・水道業	265	1.19	31.19
	情報通信業	553	2.69	情報通信業	581	2.62	—
	運輸業	1,557	7.58	運輸業, 郵便業	1,717	7.74	—
	卸売・小売業	4,642	22.61	卸売業, 小売業	4,660	21.00	—
	金融・保険業	426	2.08	金融業, 保険業	554	2.50	30.05
	不動産業	210	1.02	不動産業, 物品賃貸業	389	1.75	—
	—	—	—	学術研究, 専門・技術サービス業	698	3.15	—
	飲食店, 宿泊業	859	4.18	宿泊業, 飲食サービス業	1,024	4.61	—
	—	—	—	生活関連サービス業, 娯楽業	864	3.89	—
	教育, 学習支援業	1,058	5.15	教育, 学習支援業	1,219	5.49	—
	医療, 福祉	1,585	7.72	医療, 福祉	2,134	9.62	—
	複合サービス事業	168	0.82	複合サービス事業	101	0.46	—
	サービス業(他に分類されないもの)	3,284	16.00	サービス業(他に分類されないもの)	1,581	7.13	—
	公務(他に分類されないもの)	974	4.74	公務(他に分類されるものを除く)	1,110	5.00	—
	小計	15,518	75.59	小計	16,897	76.15	8.89
その他	分類不能の産業	147	0.72	分類不能の産業	351	1.58	138.78
	合計	20,530	100.00	合計	22,189	100.00	8.08

出典:「平成17年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm>)

「平成22年国勢調査結果」総務省(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>)

注)平成17年調査と平成22年調査では、産業分類の変更が行われているため、単純比較のできない項目は増加率を「—」とした。

3.2.2 土地利用

(1) 土地利用状況

仙台市の地目別面積の推移は、表3.2.2-1に示すとおりである。仙台市の総面積は78,585ha、大和町の総面積は22,559ha、富谷町の総面積は4,913haであり、平成25年の地目別面積は各市町とも森林が最も多い。

平成23年からの推移をみると、すべての市町で宅地は増加傾向にある。

計画地及びその周辺の土地利用は、図3.2.2-1に示すとおりである。計画地は現在大部分が更地となっている。周辺の土地利用としては、人工改変地、常緑針葉樹林、落葉広葉樹林、二次草地である。

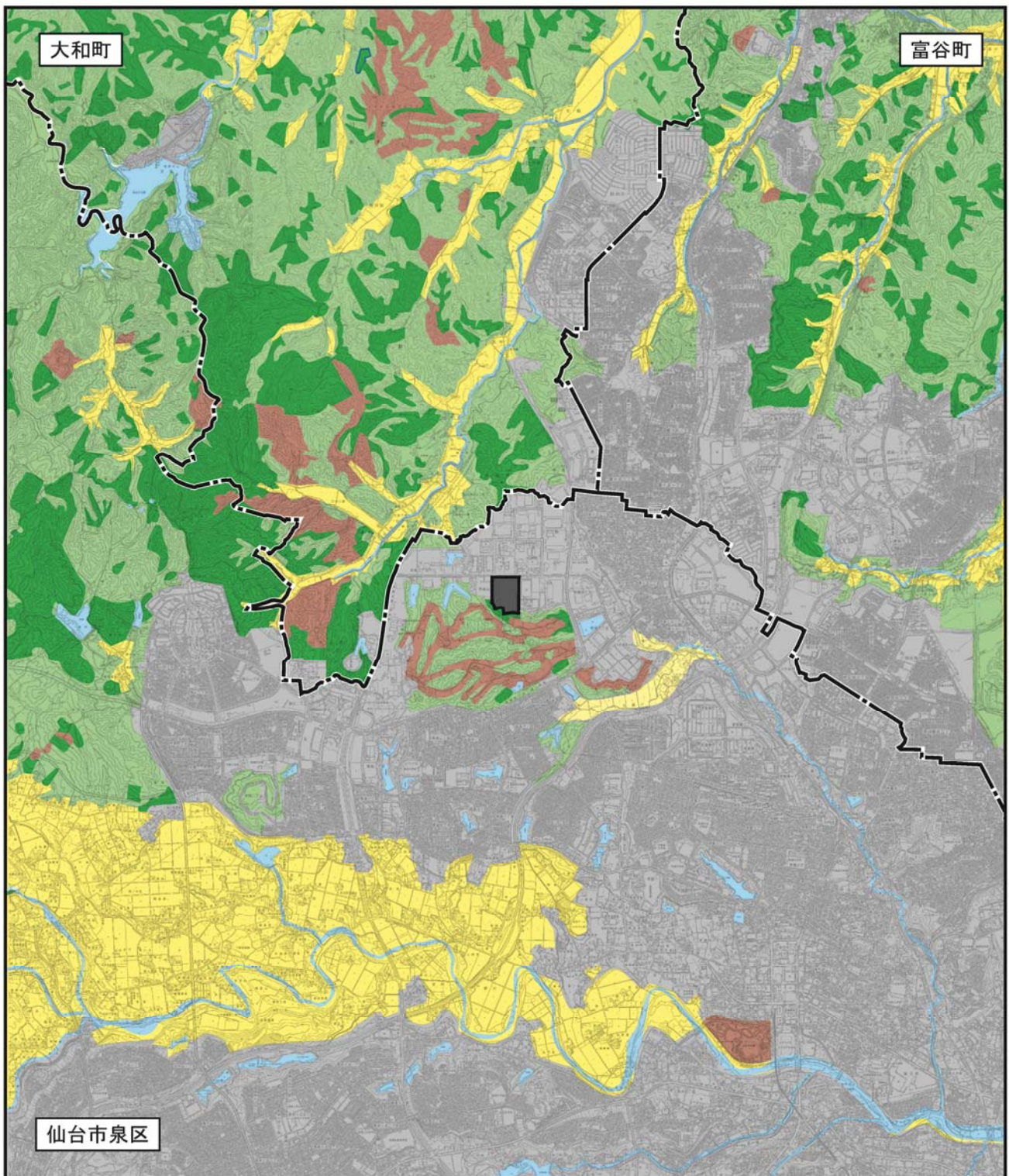
表3.2.2-1 地目別面積の推移

単位:ha

市町	年次	宅地	農地	道路	森林	原野	水面・河川・水路	その他	合計
仙台市	平成23年	12,692	4,660	4,953	45,378	3	2,489	8,410	78,585
	平成24年	12,724	4,810	4,963	45,387	3	2,497	8,201	78,585
	平成25年	12,846	5,830	4,998	45,367	3	2,590	6,951	78,585
大和町	平成23年	836	2,541	664	16,079	427	796	1,216	22,559
	平成24年	848	2,531	666	16,079	427	797	1,211	22,559
	平成25年	857	2,520	670	16,067	427	807	1,211	22,559
富谷町	平成23年	690	721	409	2,161	0	237	695	4,913
	平成24年	696	718	408	2,160	0	237	694	4,913
	平成25年	701	717	421	2,158	0	243	673	4,913

出典:「平成24年版～平成26年版宮城県統計年鑑」(宮城県)

注)各年4月1日現在の値である。



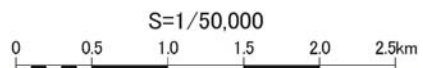
凡 例

- 計画地
- 市町界

凡 例	
記号	名称等
	山地及び丘陵地
	常緑針葉樹林
	落葉広葉樹林
	二次草地
	台地及び段丘、低地
	農耕地
	水域
	人工改変地

注) 自然環境類型区分図を作成する際に参考にした文献を以下に示す。
 「1:50,000 地形図 仙台」(平成13年委部修正 国土地理院)
 「1:50,000 地形図 吉岡」(平成7年修正 国土地理院)
 「土地分類基本調査図 地形・地質・土じょう 仙台」(昭和42年3月 経済企画庁)
 「土地分類基本調査図 地形分類図(都道府県土地分類基本調査) 吉岡」(昭和55年3月 宮城県)
 「宮城県河川・海岸図」(平成25年3月 宮城県土木部河川課)
 「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000 植生図(根白石)(富谷町)平成14年度調査」
 (<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
 「平成21年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成22年3月 仙台市)

図3.2.2-1 土地利用図



(2) 用途地域

仙台市、大和町及び富谷町における都市計画区域の面積は表3.2.2-2、計画地周辺の用途地域の指定状況は図3.2.2-2(1)～(3)に示すとおりである。

計画地は、工業専用地域に指定されている。

表3.2.2-2 都市計画区域面積

単位:ha

種別	仙台市	大和町	富谷町	
都市計画区域	44,293	6,190.0	4,913.0	
市街化調整区域	18,035	5,233.5	3,818.1	
市街化区域	26,258	956.5	1,094.9	
用途地域	第一種低層住居専用地域	5,545	136.6	643.5
	第二種低層住居専用地域	6	5.1	—
	第一種中高層住居専用地域	733	75.4	48.4
	第二種中高層住居専用地域	1,537	14.3	13.5
	第一種住居地域	2,914	71.2	165.7
	第二種住居地域	2,525	113.5	8.5
	準住居地域	64	13.9	—
	近隣商業地域	973	13.2	42.0
	商業地域	937	13.9	—
	準工業地域	1,133	57.5	119.2
	工業地域	417	60.2	54.1
	工業専用地域	1,250	381.7	—

出典:「仙台市の都市計画決定一覧」(平成26年2月 仙台市都市計画課)

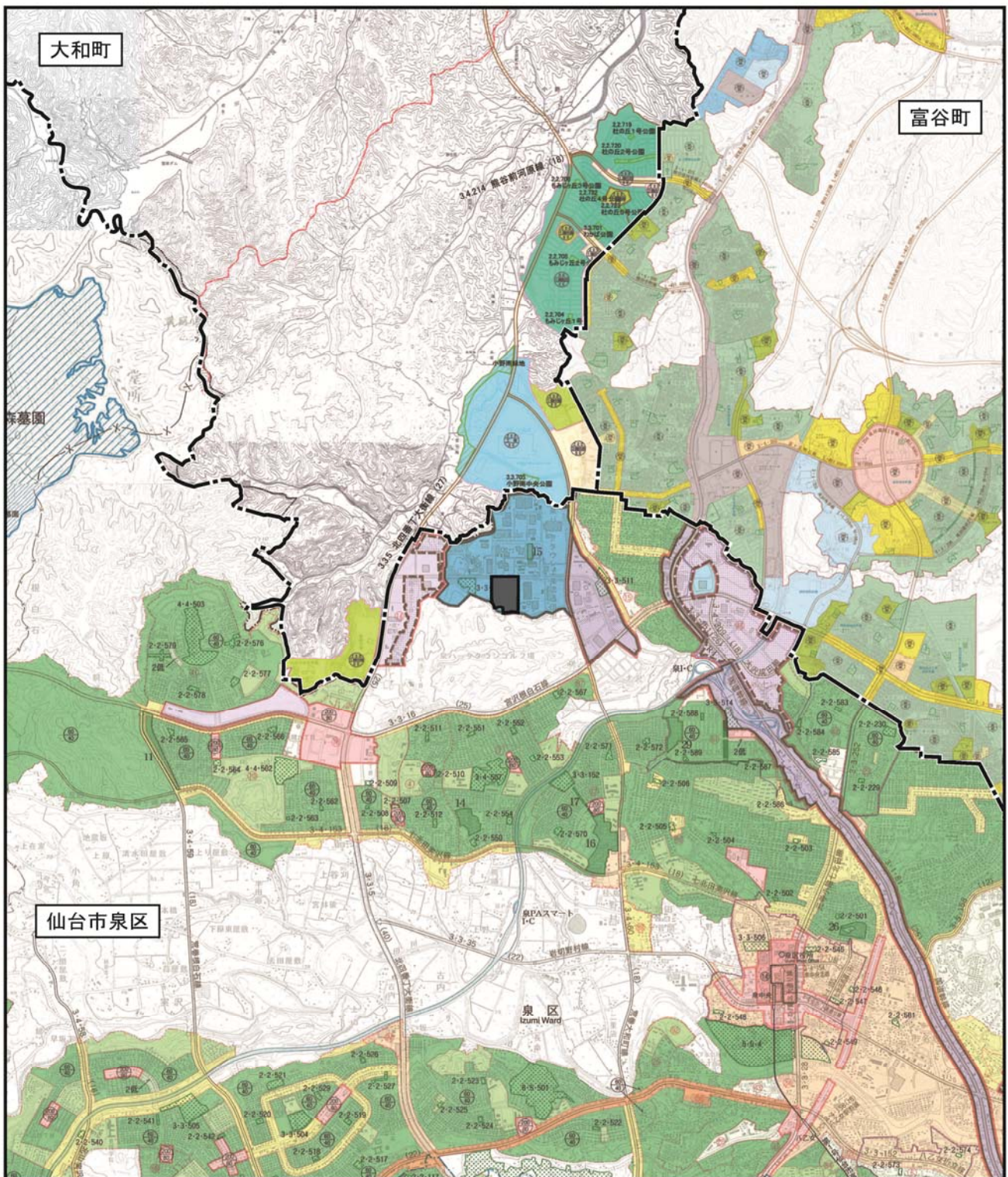
「平成25年版大和町統計書」(大和町) <http://www.town.taiwa.miyagi.jp/toukei/toukei25/0102.pdf>

「データで見る富谷」(富谷町) http://www.town.tomiya.miyagi.jp/html/data/pdf/001_06_toti_h23.pdf

注)仙台市は平成27年4月22日現在の値である。

大和町は平成22年現在の値である。

富谷町は平成23年現在の値である。



凡例

- 計画地
- 市町界

※凡例は次ページ以降に示す。

出典:「仙台市都市計画総括図 平成25年10月」(仙台市)
 「富谷町都市計画総括図 平成26年8月」(富谷町)
 「大和町都市計画総括図 平成23年9月」(大和町)

図3.2.2-2(1) 用途地域図





用途地域図 凡例（仙台市泉区）

都市計画区域界 Boundary of City Planning Area		防火地域 Fire-Protection Zone (11m, 30m)
市街化区域界 Boundary of Urbanization Promotion Area		準防火地域 Quasi-Fire-Protection Zone
用途地域	第一種低層住居専用地域 Category I Low-rise Exclusive Residential Zone 2低	その他の地域地区 高度利用地区 High-Intensity Use District 最低限高度地区 Minimum Height District 都市再生特別地区 Urban Renaissance Special District 景観地区 Landscape District 風致地区 Scenic Zone 駐車場整備地区 Zone to Provide Parking Spaces 臨港地区 Port District 特別緑地保全地区 Special Green Space Preservation Area 被災市街地復興推進地域 Urban Disaster Recovery Promotion Area 都市計画道路 City Planning Road 駅前広場 Station Plaza 高速鉄道 Urban Rapid-Transit Railroad System 都市計画公園 City Planning Park Area 都市計画緑地 City Planning Green Area 上記以外の都市施設注4 The Other Urban Facilities
	第二種低層住居専用地域 Category II Low-rise Exclusive Residential Zone	
	第一種中高層住居専用地域 Category I Mid-to-high-rise Exclusive Residential Zone	
	第二種中高層住居専用地域 Category II Mid-to-high-rise Exclusive Residential Zone	
	第一種住居地域 Category I Residential Zone	
	第二種住居地域 Category II Residential Zone	
	準住居地域 Quasi-Residential Zone	
	近隣商業地域 Neighborhood Commercial Zone	
	商業地域 Commercial Zone	
	準工業地域 Quasi-Industrial Zone	
	工業地域 Industrial Zone	
	工業専用地域 Exclusive Industrial Zone	
	上段：容積率 下段：建ぺい率 Floor Area Ratio / Building Coverage Ratio	
	特別用途地区	
第二種特別業務地区（準工業地域） Category II Special Business Zone		
第三種特別業務地区（工業地域） Category III Special Business Zone		
第四種特別業務地区（工業地域） Category IV Special Business Zone		
第五種特別業務地区（近隣商業地域） Category V Special Business Zone		
第六種特別業務地区（工業地域） Category VI Special Business Zone		
第七種特別業務地区（商業地域） Category VII Special Business Zone		
特別業務地区（準工業地域） Special Business Zone		
特別工業地区（工業専用地域） Special Industrial Zone		
文教地区（第二種中高層住居専用地域／第二種住居地域） Educational District Zone		
大規模集客施設制限地区（近隣商業地域／商業地域／準工業地域） Building Restrictions in Large Entertainment Establishments/Public Facilities District Zone		
注1：第一種低層住居専用地域の容積率・建ぺい率で表示区域以外の区域は表示区域です。 注2：第二種住居地域の容積率・建ぺい率で表示区域以外の区域は表示区域です。 注3：近隣商業地域の容積率・建ぺい率で表示区域以外の区域は表示区域です。 注4：下水道に関する施設を除きます。		

出典：「仙台都市計画総括図 平成25年10月」（仙台市）

図3.2.2-2(2) 用途地域図 凡例(仙台市泉区)



用途地域図 凡例（富谷町）



用途地域図 凡例（大和町）

凡 例			
	行政区域		
	市街化区域		
用途地域		容積率 建ぺい率	備考
	第一種低層住居専用地域	30/50	外壁の後退距離1m 建築物の高さの限度10m
	第一種中高層住居専用地域	200/60	
	第二種中高層住居専用地域	200/60	
	第一種住居地域	200/60	
	第二種住居地域	200/60	
	近隣商業地域	200/80	
	準工業地域	200/60	
	工業地域	200/60	
	工業専用地域	200/60	
	準防火地域		
	都市計画道路		
	都市計画公園・緑地		
	地区計画区域		

凡例	
	行政界
	都市計画区域
	都市計画街路
	地区計画区域
都市計画用途	
用途	
	第一種低層住居専用地域
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域
	市街化調整区域
	都市公園・緑地
	下水処理場

出典：「富谷町都市計画総括図 平成26年8月」（富谷町）
「大和町都市計画総括図 平成23年9月」（大和町）

図3.2.2-2(3) 用途地域図 凡例(富谷町・大和町)

(3) 周辺開発計画

計画地周辺において、計画、または事業中の土地区画整理事業や市街地再開発事業は、図3.2.2-3に示すとおり、計画地の西側約3.5kmに（仮称）泉パークタウン第6住区開発計画がある。同計画の事業概要を表3.2.2-3に示す。

表3.2.2-3 （仮称）泉パークタウン第6住区開発計画の事業概要

項目	内容
事業の名称	（仮称）泉パークタウン第6住区開発計画
事業の種類	住宅団地の造成の事業
位置	仙台市泉区根白石字針生山地内
規模	対象事業計画地 面積 約1,480,000㎡
主要用途とその面積	・宅地：約580,000㎡ ・道路：約250,000㎡ ・公園：約50,000㎡ ・緑地：約570,000㎡ ・他：約30,000㎡
計画人口	9200人（1戸当たり4人）
戸建て・集合の別	戸建て住宅
区画数、1区画の平均面積	約2300戸 1区画の平均面積230㎡
造成工事予定期間	平成28年度～平成32年度（予定）
供用開始予定	平成32年度（予定）

出典：「環境影響評価方法書-（仮称）泉パークタウン第6住区開発計画-」（平成27年1月 三菱地所株式会社）

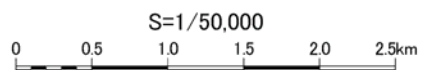


凡 例

- 計画地
(仮称)泉パークタウン第6住区開発計画
- 市町界

出典:「環境影響評価方法書-(仮称)泉パークタウン第6住区開発計画-」(平成27年1月 三菱地所株式会社)

図3.2.2-3 周辺開発事業位置図



3.2.3 水利用

(1) 水利権の設定及び利水の状況

農業用水取水施設の概要は表3.2.3-1、施設の位置は図3.2.3-1に示すとおりであり、調査範囲では、竹林川に21、小野川に1、西川に9、宮床川に12、七北田川に5、八乙女川に1の農業用水取水施設が存在する。

表3.2.3-1 農業用水取水施設の概要

河川名	施設名	所在地	取水量(m ³ /秒)		施設所有者	施設管理者
			最大	常時		
竹林川	小野揚水機場	黒川郡大和町小野地内	0.0200	0.0080	—	—
竹林川	荒井堰	黒川郡大和町小野	0.0500	0.0500	熊谷水利組合	富谷町
竹林川	新道揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0067	熊谷水利組合	富谷町
竹林川	菅原揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0015	0.0010	—	—
竹林川	白久保揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0080	0.0080	鳥屋水利組合	鳥屋水利組合
竹林川	後藤堰	黒川郡大和町小路	0.0600	0.0600	幕柳水利組合	幕柳水利組合
竹林川	後藤堰下揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0070	太田水利組合	太田水利組合
竹林川	岩倉堰	黒川郡大和町小野	0.0030	0.0030	個人	個人
竹林川	後藤下揚水機場	黒川郡大和町小野後藤	0.0010	0.0007	小鶴沢水利組合	小鶴沢水利組合
竹林川	清水揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0015	0.0010	小鶴沢水利組合	小鶴沢水利組合
竹林川	小野揚水機場	黒川郡大和町小野地内	0.0200	0.0080	—	—
竹林川	長原堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0020	0.0020	相川堰水利組合	相川堰水利組合
竹林川	長原揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0100	亀岡堰水利組合	亀岡堰水利組合
竹林川	蛇石堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0010	0.0010	金堰水利組合	金堰水利組合
竹林川	新田揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0050	0.0050	中島揚水機利用組合	中島揚水機利用組合
竹林川	菅谷地下堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0030	0.0030	青木堰水利組合	青木堰水利組合
竹林川	菅谷地上堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0050	0.0050	石崎堰水利組合	石崎堰水利組合
竹林川	山岸揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0080	0.0080	神明堰水利組合	神明堰水利組合
竹林川	山岸堰	黒川郡大和町宮床小野字蛇石	0.0030	0.0030	達居堰水利組合	達居堰水利組合
竹林川	松沢堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0100	—	—
竹林川	苦勞川堰	黒川郡大和町小野	0.0100	0.0100	岩下堰用水組合	岩下堰用水組合
小野川	上の堰	黒川郡大和町小野前河原	0.0340	0.0280	三本堰水利組合	三本堰水利組合
西川	1号揚水機場	黒川郡富谷町一枚沖	0.0080	0.0080	八志田堰組合	八志田堰組合
西川	2号揚水機場	黒川郡富谷町一枚沖	0.0090	0.0090	沢渡水利組合	沢渡水利組合
西川	高屋敷堰	黒川郡富谷町富谷字一枚沖	0.0110	0.0110	—	—
西川	治部入堰	黒川郡富谷町富谷字高屋敷	0.0150	0.0150	鳴瀬土地改良区	鳴瀬土地改良区
西川	3号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0040	0.0040	鳴瀬土地改良区	鳴瀬土地改良区
西川	4号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0020	0.0020	—	—
西川	5号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0013	0.0013	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
西川	熊谷下堰	黒川郡富谷町富谷字熊谷下	0.0100	0.0050	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
西川	明坂堰	黒川郡富谷町富谷字明坂	0.0100	0.0050	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
宮床川	谷地中2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	石倉水利組合	石倉水利組合
宮床川	石塚3号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0600	—	—
宮床川	石塚2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	一二三堰水利組合	富谷町
宮床川	石塚1号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0050	0.0050	個人	個人
宮床川	谷地中沢揚水機場	黒川郡大和町	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	摺萩下の堰	黒川郡大和町宮床摺萩	0.0100	0.0090	個人	個人
宮床川	摺萩4号揚水機場	黒川郡大和町	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	妖塊沢揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0070	0.0070	個人	個人
宮床川	摺萩3号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0050	0.0050	個人	個人
宮床川	摺萩2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0030	0.0030	個人	個人
宮床川	摺萩1号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	摺萩上の堰	黒川郡大和町宮床摺萩	0.0100	0.0100	個人	個人
七北田川	薄ヶ沢堰	仙台市泉区	2.0480	1.4800	個人	個人
七北田川	明神堰頭首工	仙台市泉区野村字八木沢	0.1000	0.0800	個人	個人
七北田川	諏訪揚水機場	仙台市泉区実沢字六堂	0.0180	0.0160	個人	個人
七北田川	六堂揚水機	仙台市泉区実沢	0.0150	0.0150	個人	個人
七北田川	川西揚水機	仙台市泉区実沢字小角	0.1900	0.1900	—	—
八乙女川	館堰	仙台市泉区実沢萩屋敷	0.0120	0.0120	—	—

出典:「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂5版」(平成20年3月 宮城県農林水産部農村振興課)

(2) 漁業権の設定の状況

調査範囲では、鳴瀬吉田川漁業協同組合が設置されており、漁業権が設定されている河川は、表3.2.3-2に示すとおりである。調査範囲では、吉田川の支川である西川、竹林川、宮床川に第5種共同漁業の漁業権が設定されている。なお、調査範囲で漁業権が設定されている海面及び湖沼はない。

表3.2.3-2 内水面漁業協同組合と漁業権の設定

組 合 名	漁業権が設定されている河川
鳴瀬吉田川漁業協同組合	吉田川、鶴田川、善川、味明川、滑川、西川、竹林川、宮床川、毒川、南川、大堀、鳴瀬川、多田川、鳥川、鹿又川、大滝川、青野川、長谷川、保野川、深川、花川、寒風沢川、二ツ石川、唐府沢、難波川、嘉太神川

(3) 地下水利用の状況

地下水揚水量実態調査（宮城県）によると、仙台市、富谷町及び大和町における事業所用（対象となる事業所は製造業では原則として従業員10人以上）の井戸（原則として揚水機の吐出口断面積が6cm²以上のもの）の地下水揚水量は、表3.2.3-3に示すとおりである。

表3.2.3-3 地下水揚水量

	市町村	井戸本数 (本)	揚水量 (m ³ /日)
工業用	仙台市	0	0
	富谷町	4	223
	大和町	7	460
建築物用	仙台市	84	598
	富谷町	15	503
	大和町	27	3,379
水道用	仙台市	13	284
	富谷町	4	170
	大和町	2	214
農業用	仙台市	33	98
	富谷町	10	612
	大和町	138	20,313
合計	仙台市	130	980
	富谷町	33	1,508
	大和町	174	24,366

備考：仙台市は平成25年調査、富谷町及び大和町は平成11年調査の値である。
出典：「平成25年度 公害資料（地盤沈下編）」（平成27年3月 宮城県）